

伊勢崎市の住まいや住環境に関する
市民アンケート調査

報告書

令和4年10月

伊勢崎市

目 次

1. 調査方法	1
1.1. 調査方法の概要	1
1.2. 集計方法	1
1.3. 調査票	2
2. 単純集計の結果	8
2.1. 回答者の属性	8
2.1.1. 世帯主について（問1）	8
2.1.2. 世帯について（問2）	10
2.1.3. 離れて暮らす親や子との同居に関する意向（問3）	13
2.1.4. 希望する同居形態（問4）	14
2.1.5. 居住地域（問5）	14
2.2. 現在の住宅や住環境の状況	15
2.2.1. 住宅の種類（問6）	15
2.2.2. 住まなくなった後の想定（問7）	15
2.2.3. 空家の未然防止策の認知度（問8）	16
2.2.4. リフォーム支援の認知度（問9）	17
2.2.5. 住宅の構造（問10）	18
2.2.6. 住宅の完成時期（問11）	18
2.2.7. 毎月の住居費（問12）	19
2.2.8. 住居費負担度（問2と問12）	20
2.2.9. 住宅の広さ（問13）	21
2.2.10. 住宅や住環境の満足度と重要度（問14）	22
2.3. まちづくりの方針の認知度	28
2.3.1. 立地適正化計画の認知度（問15）	28
2.4. 地震・洪水・土砂災害などに対する備え	28
2.4.1. 耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点（問16 あてはまるものすべて選択）	28
2.4.2. 自然災害に対して不安なこと（問17 あてはまるものすべて選択）	29
2.4.3. 市のHPにあると良い情報（問18 あてはまるものすべて選択）	29
2.5. 65歳以上になった時の住まい	30
2.5.1. 65歳以上になった時の希望の住まい（問19）	30
2.6. 子育てしやすい住宅・住環境	30
2.6.1. 子育てする上で問題だと感じること（問20 3つまで選択）	30
2.7. 生活困窮者への支援制度の認知度	31
2.7.1. 伊勢崎市の住居確保給付金制度（問21）	31
2.7.2. 群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度（問22）	31
2.8. 外国人住民の住宅・住環境	32
2.8.1. 外国人住民との面識（問23）	32

2.8.2.	日本人住民と外国人住民が快適に生活するために不足している住生活支援（問 24 あてはまるものすべて選択）	32
3.	目的別集計（クロス集計）の結果	33
3.1.	住宅分野（空き家対策）	33
3.1.1.	高齢者は住まなくなった後の想定ができていますか	33
3.1.2.	高齢者は空き家未然防止施策を認知していますか	34
3.2.	都市計画分野（立地適正化計画）	36
3.2.1.	どの年齢層の人がまちづくりに興味関心があるか	36
3.2.2.	どの地域の人がまちづくりに興味関心があるか	36
3.3.	防災分野（耐震改修、自然災害への備え）	37
3.3.1.	昭和 55 年以前の住宅に住む人は耐震改修等を実施する上で何がハードルなのか	37
3.3.2.	どの年齢層の人が自然災害にどのような不安を抱えているか	38
3.4.	環境分野（リフォーム支援施策の認知度）	39
3.4.1.	どの年齢層の人がリフォーム支援施策を認知していますか	39
3.4.2.	いつ頃に完成した住宅の居住者がリフォーム支援施策を認知していますか	39
3.5.	子育て分野（子育てする上での問題）	40
3.5.1.	現在子育てしている人の子育てする上での問題（18 歳未満と同居する世帯のみ）	40
3.5.2.	子育てしている人の住居費負担はどの程度か	41
3.5.3.	子育てしている人は三世代居住を希望しているか	41
3.6.	高齢者福祉分野（希望する住宅）	42
3.6.1.	高齢者の状況によって希望する住宅にどのような差があるか	42
3.7.	セーフティネット（生活困窮者支援の認知度）	43
3.7.1.	低所得者の認知度（伊勢崎市の住居確保給付金制度）	43
3.7.2.	低所得者の認知度（群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度）	43
3.8.	外国人住民	44
3.9.	ニューノーマル、DX	45
3.9.1.	市の HP にあると良い情報	45
3.9.2.	在宅勤務等に適した設備・間取り	46
4.	自由回答（問 25）一覧	47

1. 調査方法

1.1. 調査方法の概要

次のとおり、アンケート調査を実施した。

表 アンケート調査実施の概要

目的	・本市における住宅及び住環境に関するニーズと課題（施策の対象とすべき人々の状況）を明らかにする。 ・前回調査と比較し、計画の進捗・評価に活用する（継続すべき施策と新設すべき施策の導出）。
調査方法	郵送及びWEB（市のシステム）による配布・回収
調査時期	令和4年9月17日～10月7日
対象者	対象地区内の世帯主（満18歳以上） 住民基本台帳から無作為抽出（2,000世帯）
回収数	紙：545通、WEB回答：166通 合計：711通（回収率35.6%）
調査内容	・回答者属性 ・現在住んでいる住宅や住環境 ・伊勢崎市のまちづくりの方針の認知度 ・地震・洪水・土砂災害などに対する備え ・65歳以上になった時（既に65歳以上の方も含む）の住まい ・子育てしやすい住宅・住環境 ・生活に困窮する方のための住まいの支援制度 ・外国人住民の住宅・住環境 ・そのほか自由記述

1.2. 集計方法

- 回収された711票のうち、紙回答とWEB回答の間で二重回答でないことが明らかな710票を有効票として集計した。
- 「その他」による記述が可能な項目や、回答欄外に回答以外の記入がある紙回答は、それらを考慮した上で集計した。
- 比率（パーセント）は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。また、比率が5%未満の項目はグラフ中のラベルを非表示としている。

1.3. 調査票

伊勢崎市の住まいや住環境に関する市民アンケート調査 アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、平素より市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

伊勢崎市では、平成30年3月に策定した「伊勢崎市住生活基本計画（以下、本計画）」にもとづいて、市民の皆様の最も身近なお住まいや、お住まいの周りの生活環境の向上に向けた各種の施策を計画的・総合的に推進しております。

策定より5年を経て、市を取り巻く社会・経済情勢の変化に対応するため、関連する市の各種計画の見直しを受け、本計画の改定を行うこととなりました。

このため、市民の皆様のお住まいや住環境に対する意識や要望などについて、本調査において幅広くお聞きし、改定のための基礎資料として活用したいと考えています。

調査の対象となる方は、本市にお住まいの世帯から無作為に2,000世帯を選ばせていただいております。なお、ご回答は無記名であり、内容につきましても統計的に処理しますので、ご回答者様にご迷惑をかけることは一切ございません。

お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月

伊勢崎市長 臂 泰 雄

回答のしかた

1. ご回答は、ご家族の皆様で相談していただき、原則として世帯主の方がご回答ください。
2. インターネットまたは紙の調査票で回答できます。好きな方を選んでご回答ください。

①インターネットで回答される方 **10月7日（金）**までにご回答ください
(PC、スマホ、タブレットで回答できます)

1 二次元コードからアクセス



<https://bgoform.jp/form/Gofu/144042>

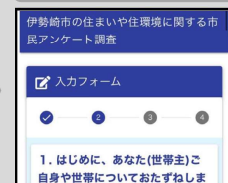
2 調査票の右上のIDでログイン

住環境に関する市民アンケート調査
インターネット回答のログインID: 1t68de ID (6ケタ)

こついでおたずねします。
はまるもの1つを選んで✓をつけてください。

※ IDは二重の回答を防止するため使用します。
※ ログインできない場合、紙の調査票で回答してください。

3 回答する



②紙で回答される方

10月7日（金）までに調査票を返信用封筒に入れて、
切手を貼らずに郵便ポストにご投函ください

ご記入につきましては、

- ①鉛筆か黒のボールペンでご記入ください。
- ②質問ごとに、あてはまる項目を選び、✓を付ける又は番号を○で囲んでください。
「その他」を選んだ方は、() 内に、その内容を具体的にお書きください。

お問い合わせ先 伊勢崎市 建設部 住宅課 (担当: 山田、大真)

電話 0270-27-2764(直通) e-mail: juutaku@city.isesaki.lg.jp

伊勢崎市の住まいや住環境に関する市民アンケート調査

インターネット回答のログインID：1t68de

1. はじめに、あなた(世帯主)ご自身や世帯についておたずねします。

問1 あなた(世帯主)ご自身について、あてはまるもの1つを選んで✓をつけてください。

性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性		
年齢	<input type="checkbox"/> 10歳代	<input type="checkbox"/> 20歳代	<input type="checkbox"/> 30歳代	<input type="checkbox"/> 40歳代
	<input type="checkbox"/> 50歳代	<input type="checkbox"/> 60～64歳	<input type="checkbox"/> 65～69歳	<input type="checkbox"/> 70歳以上
職業	<input type="checkbox"/> 会社員・団体職員 (派遣・契約社員など含む)	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> 自営業・個人事業主等	<input type="checkbox"/> 農林業従事者
	<input type="checkbox"/> パート・アルバイト	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他()

問2 あなたの世帯について、あてはまるもの1つを選んで✓をつけてください。

あなたを含む世帯の人数	<input type="checkbox"/> 1人	<input type="checkbox"/> 2人	<input type="checkbox"/> 3人	<input type="checkbox"/> 4人	<input type="checkbox"/> 5人	<input type="checkbox"/> 6人以上
18歳未満の方の有無	<input type="checkbox"/> 18歳未満の方が世帯にいる			<input type="checkbox"/> 18歳未満の方が世帯にいない		
65歳以上の方の有無	<input type="checkbox"/> 65歳以上の方が世帯にいる			<input type="checkbox"/> 65歳以上の方が世帯にいない		
昨年1年間の世帯収入	<input type="checkbox"/> 200万円未満	<input type="checkbox"/> 200～300万円	<input type="checkbox"/> 300～400万円	<input type="checkbox"/> 400～500万円		
	<input type="checkbox"/> 500～600万円	<input type="checkbox"/> 600～800万円	<input type="checkbox"/> 800～1,000万円	<input type="checkbox"/> 1,000万円以上		
世帯の構成	<input type="checkbox"/> 単身世帯	<input type="checkbox"/> 二世帯世帯(親と子)			<input type="checkbox"/> 三世帯世帯(親と子と孫)	
	<input type="checkbox"/> 夫婦のみ	<input type="checkbox"/> その他()				

「単身世帯」「二世帯世帯(親と子)」「夫婦のみ」「その他」を選んだ方は問3へお進みください

「三世帯世帯(親と子と孫)」を選んだ方は問5へお進みください

問3 あなたは、離れて暮らす親または子と同居すること(二世帯同居や三世帯同居)についてどう思いますか。あてはまるもの1つを選んで✓をつけてください。

積極的に希望する どちらかといえば希望する 希望していない 分からない

問4 問3で「積極的に希望する」「どちらかといえば希望する」を選んだ方におたずねします。どのような形態での同居を希望しますか。あてはまるもの1つを選んで✓をつけてください。

現在の住宅*の空き室などを利用して同居 (※あなたの住んでいる住宅や、親または子の住宅) 現在の住宅*を増改築して同居 (※あなたの住んでいる住宅や、親または子の住宅)

新築の住宅で同居 中古住宅や空き家などを活用して安く同居

その他()

問5 お住まいの地域はどちらですか。1つを選んで✓をつけてください。

北地区 南地区 菟蓮地区 茂呂地区 三郷地区 宮郷地区

名和地区 豊受地区 赤堀地区 東地区 境地区

2. あなた(世帯主)が現在住んでいる住宅や住環境についておたずねします。

問6 あなた(世帯主)がお住まいの住宅の種類はどれですか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 一戸建ての持家	<input type="checkbox"/> 分譲マンション	<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 給与住宅(社宅・寮)
	<input type="checkbox"/> 公的賃貸住宅(市営・県営など)	<input type="checkbox"/> その他()	

「一戸建ての持家」を選んだ方は
問7へお進みください

「一戸建ての持家」以外を選んだ方は、問10へお進みください

問7 あなた(世帯主)が住まなくなった後、現在の住宅はどのように使われると思いますか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 親族等が居住する予定	<input type="checkbox"/> 賃貸物件として貸し出す予定
<input type="checkbox"/> 中古物件として売る予定	<input type="checkbox"/> 取り壊す予定
<input type="checkbox"/> わからない(考えたことがない)	<input type="checkbox"/> その他()

問8 伊勢崎市や群馬県では、住宅が空き家になることを防止したり、空き家の活用を推進したりする目的で、次のような相談窓口や支援制度を設けています。これらについてご存知ですか。それぞれの項目について1つを選んで✓をつけてください。

◆相続や売買など空き家全般の相談に応じる、伊勢崎市無料空き家相談会	<input type="checkbox"/> 知っており、利用する予定がある	<input type="checkbox"/> 知っているが、利用する予定はない
	<input type="checkbox"/> 知らないが、興味関心がある	<input type="checkbox"/> 知らないし、興味関心もない
	<input type="checkbox"/> 既に利用した	
◆空き家を売買・賃貸借したい人のための、伊勢崎市空き家情報バンク	<input type="checkbox"/> 知っており、利用する予定がある	<input type="checkbox"/> 知っているが、利用する予定はない
	<input type="checkbox"/> 知らないが、興味関心がある	<input type="checkbox"/> 知らないし、興味関心もない
	<input type="checkbox"/> 既に利用した	
◆50歳以上の方の所有する住宅を子育て世帯などに貸し出す、群馬県空き家活用・住みかえ支援事業	<input type="checkbox"/> 知っており、利用する予定がある	<input type="checkbox"/> 知っているが、利用する予定はない
	<input type="checkbox"/> 知らないが、興味関心がある	<input type="checkbox"/> 知らないし、興味関心もない
	<input type="checkbox"/> 既に利用した	

問9 伊勢崎市では、住宅の各種リフォームに対する補助金の交付や相談会などを実施していますが、ご存知ですか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 知っており、利用する予定がある	<input type="checkbox"/> 知っているが、利用する予定はない	
<input type="checkbox"/> 知らないが、興味関心がある	<input type="checkbox"/> 知らないし、興味関心もない	<input type="checkbox"/> 既に利用した

問10 お住まいの住宅の構造はどちらですか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 木造・軽量鉄骨造	<input type="checkbox"/> 非木造(鉄筋コンクリート造など)	<input type="checkbox"/> 分からない
-----------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------

問11 お住まいの住宅の完成時期はいつ頃ですか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 昭和35年以前	<input type="checkbox"/> 昭和36~45年	<input type="checkbox"/> 昭和46~55年	<input type="checkbox"/> 昭和56~平成2年	<input type="checkbox"/> 平成3~12年
<input type="checkbox"/> 平成13~22年	<input type="checkbox"/> 平成23~令和2年	<input type="checkbox"/> 令和3年以降	<input type="checkbox"/> 分からない	

問12 住宅のローン支払いや家賃などの住居費(管理費や共益費を含む。駐車場料金は含まない)は、月当たりどのくらいですか。1つを選んで✓をつけてください。(ローンは年間を通して平均した月当たり額に換算してください。)

<input type="checkbox"/> 3万円未満	<input type="checkbox"/> 3万円~5万円	<input type="checkbox"/> 5万円~7万円	<input type="checkbox"/> 7万円~9万円
<input type="checkbox"/> 9万円~11万円	<input type="checkbox"/> 11万円~13万円	<input type="checkbox"/> 13万円~15万円	<input type="checkbox"/> 15万円以上

問13 住宅のおおむねの広さはどれですか。1つを選んで✓をつけてください。

<input type="checkbox"/> 25 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 25~30 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 30~40 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 40~50 m ² 未満
<input type="checkbox"/> 50~60 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 60~70 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 70~100 m ² 未満	<input type="checkbox"/> 100~150 m ² 未満
<input type="checkbox"/> 150 m ² 以上	<input type="checkbox"/> 分からない		

問14 お住まいの住宅や住環境の満足度と重要度について、あなた(世帯主)の考えに一番近い番号を項目ごとに1つ選んで、番号に○をつけてください。

	現在の満足度				今後の重要度				
	満足	まあ満足	やや不満	不満	高い	まあ高い	やや低い	低い	
(記入例)	1	2	③	4	①	2	3	4	
住	①住居内部の広さ、部屋数	1	2	3	4	1	2	3	4
	②台所や風呂等の水廻り設備	1	2	3	4	1	2	3	4
	③地震に対する安全性	1	2	3	4	1	2	3	4
	④壁や窓の遮音性や断熱性	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤日当たりや風通し	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥段差や手すりなどのバリアフリー性	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑦駐車スペース(車、オートバイ、自転車)	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧敷地(住宅の敷地の広さ、住棟まわりの広さ)	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨建物の老朽化・美観	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩在宅勤務等に適した設備・間取り	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑪住宅の総合評価	1	2	3	4	1	2	3	4
まわりの住環境	①食料品など日常的な買い物などの便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
	②通勤・通学の利便性	1	2	3	4	1	2	3	4
	③医療・福祉・子育てサービスの便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
	④文化・スポーツ施設の便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑤公共交通の便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑥公園・広場・遊び場などの充実度	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑦防犯・治安	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑧地震・火災・水害に対する安全性	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑨騒音・振動	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑩周辺の道路状況・安全性	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑪住宅の密集度合い	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑫周辺の街並み景観	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑬近隣住民とのつきあい	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑭人と出会える・交流できる施設・店舗	1	2	3	4	1	2	3	4
	⑮まわりの住環境の総合評価	1	2	3	4	1	2	3	4

ID: «ID»

3. 伊勢崎市のまちづくりの方針の認知度についておたずねします。

問15 伊勢崎市では、人口減少や高齢化が進む中でも良質な生活サービス（医療・福祉・子育て・商業・公共交通など）を享受できるようにするために、平成29年度に立地適正化計画を策定して、都市機能や居住に関するまちづくりの方針や施策を定めました。あなたは、このことをご存知ですか。1つを選んで✓をつけてください。

- 内容を知っており、自分の住む地域のまちづくりの方針を理解している
- よく知らないが、自分の住む地域のまちづくりの方針に興味関心がある
- 知らないし、興味関心がない その他（ ）

4. 地震・洪水・土砂災害などに対する備えについておたずねします。

問16 現在お住まいの住宅の耐震診断や耐震改修を実施する上での（または実施した時に感じた）問題点がありますか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。

- 耐震診断又は改修をする必要がない 資金がない
- 耐震改修について情報が足りない どこに相談すればいいのかわからない
- 他の人と話し合いが必要（借家や共同住宅など） 実施する上で特に問題はない
- その他（ ）

問17 地震・洪水・土砂災害等の自然災害に対して、不安なこと・分からないことは何ですか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。

- どこで・どんな災害の発生が想定されているか どこに・いつ避難すればいいのかわからない
- 近所の人とどうやって助け合えばいいのかわからない 住宅がどのくらい被害を受けるのかわからない
- 住宅内や敷地内でどんな対策が必要なのかわからない 住宅の復旧にかかる費用負担が大きい
- その他（ ） 不安なこと・分からないことはない

問18 伊勢崎市が紹介する市営住宅、中古住宅、空き家などへの入居を検討するとき、市のHPに、どのような情報があると良いと思いますか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。

- 行政（国・県・市）による住宅支援のメニューをまとめた、スマホで閲覧しやすいサイト
- 物件の内部を360度カメラ等で見ることが出来るサイト
- 市内で暮らしやすい場所が分かる地図（病院、学校等の施設分布等）
- 希望物件の情報がメールやライン等で自動配信されるサービス
- AI（人工知能）のチャットを通じて、物件や住宅支援について気軽に相談できるサービス
- その他（ ）

5. 65歳以上になった時(既に65歳以上の方も含む)の住まいについておたずねします。

問19 65歳以上になった時(既に65歳以上の方も含む)、どのような住宅に住みたいですか。1つを選んで✓をつけてください。

- 現在住んでいる住宅に住み続けたい 生活に便利な駅周辺などの市街地に移り住みたい
- 高齢者向けの賃貸住宅に移り住みたい 医療・福祉サービス付きの住宅・施設に住みたい
- 分からない その他（ ）

6. 子育てしやすい住宅・住環境についておたずねします。

問20 あなたが現在の住宅で子育てをする上で、住宅や住環境について問題だと感じることは何ですか。
(子どもがいない方は、自分に子どもがいるものとしてお答えください)あてはまるものを3つまで選び✓をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 住宅の広さや間取り | <input type="checkbox"/> 遮音性能などの住宅性能 | <input type="checkbox"/> 住居費(購入費や家賃など)の負担 |
| <input type="checkbox"/> 親の通勤・子の通学が不便 | <input type="checkbox"/> 通院・買い物等が不便 | <input type="checkbox"/> 周囲に遊び場などが少ない |
| <input type="checkbox"/> 周囲の治安 | <input type="checkbox"/> 周囲の交通の安全性 | <input type="checkbox"/> 周囲に同年代の子供がいない |
| <input type="checkbox"/> 近隣住民とのつきあい | <input type="checkbox"/> その他() | <input type="checkbox"/> 特に不満はない |

7. 生活に困窮する方のための住まいの支援制度についておたずねします。

問21 伊勢崎市では、離職などにより経済的に困窮している人に対し、一定期間、家賃相当額を支援しています。この制度についてご存知ですか。1つを選んで✓をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> よく知っている | <input type="checkbox"/> 聞いたことがあるが、詳しく知らない | <input type="checkbox"/> 知らない |
|----------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|

問22 群馬県では、住宅確保要配慮者(低所得者、被災者、高齢者、障害者、子育て世帯、外国人など)が入居できる賃貸住宅を案内する仕組みがあります。この制度についてご存知ですか。1つを選んで✓をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> よく知っている | <input type="checkbox"/> 聞いたことがあるが、詳しく知らない | <input type="checkbox"/> 知らない |
|----------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------|

8. 外国人住民の住宅・住環境についておたずねします。

問23 あなたの住宅の近所や、学校、職場等に、外国人の方はいますか。1つを選んで✓をつけてください。

- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 直接面識がある | <input type="checkbox"/> 面識はないが知っている | <input type="checkbox"/> いない | <input type="checkbox"/> 分からない |
|----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|--------------------------------|

問24 日本人住民と外国人住民が同じ伊勢崎市の中で快適に生活するために、住生活に関してどのような支援が不足していると思いますか。あてはまるものすべてに✓をつけてください。

- | | |
|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 外国語による住宅情報の提供 | <input type="checkbox"/> 外国語による生活ルールの情報提供 |
| <input type="checkbox"/> お互いの習慣や文化を理解する機会の増加 | <input type="checkbox"/> 生活マナーの共有 |
| <input type="checkbox"/> 言語の違いを超えてコミュニケーションができるようなツールの提供 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

問25 その他、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 単純集計の結果

2.1. 回答者の属性

2.1.1. 世帯主について（問1）

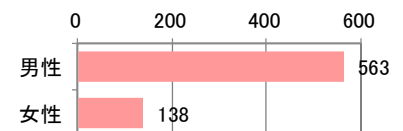
(1) 性別

回答者の性別は、男性が約80%と多くなっている。

図表 性別

選択肢	人数	割合
男性	563	80.3%
女性	138	19.7%
回答者合計	701	100.0%

(SA)



(2) 年齢

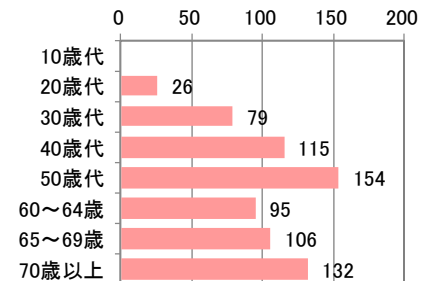
回答者の年齢は、60歳代（60～64歳と65～69歳の割合の合計）が約28%と他の年代に比べて特
に多い。次いで50歳代が約22%、70歳以上が約19%である。

65～69歳と70歳以上の割合の合計は約34%であり、約3割が高齢者の回答である。また、10歳
代からの回答は得られていない。

図表 年齢

選択肢	人数	割合
10歳代	0	0.0%
20歳代	26	3.7%
30歳代	79	11.2%
40歳代	115	16.3%
50歳代	154	21.8%
60～64歳	95	13.4%
65～69歳	106	15.0%
70歳以上	132	18.7%
回答者合計	707	100.0%

(SA)

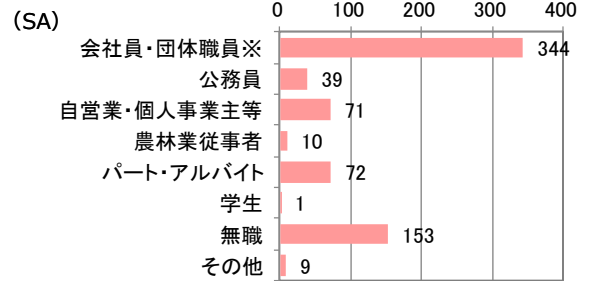


(3) 職業

回答者の職業は、「会社員・団体職員」が約49%と高く、次いで「無職」が約22%、次いで「パート・アルバイト」が約10%である。

図表 職業

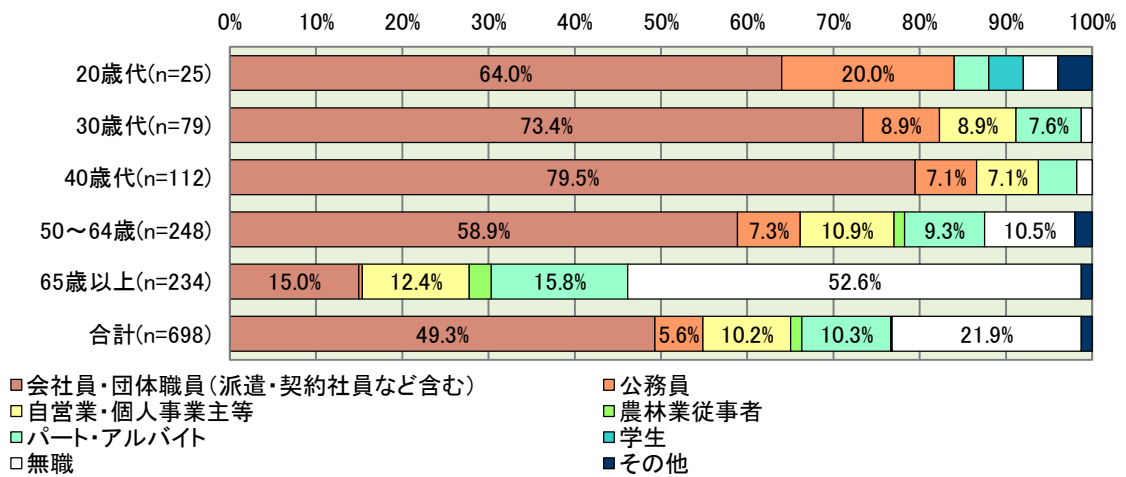
選択肢	人数	割合
会社員・団体職員※	344	49.2%
公務員	39	5.6%
自営業・個人事業主等	71	10.2%
農林業従事者	10	1.4%
パート・アルバイト	72	10.3%
学生	1	0.1%
無職	153	21.9%
その他	9	1.3%
回答者合計	699	100.0%



※派遣・契約社員など含む

年齢別に見ると、65歳以上の高齢者の約53%が「無職」と回答しており、その他の年齢層では「会社員・団体職員」が最も多い。

図 職業（年齢別）



2.1.2. 世帯について（問2）

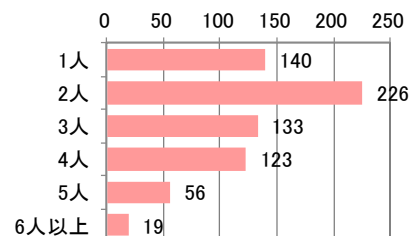
(1) 世帯の人数（世帯主を含む）

世帯の人数は、2人世帯が最も多く約32%、次いで1人世帯が約20%、次いで3人世帯が約19%と続いている。

図表 世帯の人数

選択肢	人数	割合
1人	140	20.1%
2人	226	32.4%
3人	133	19.1%
4人	123	17.6%
5人	56	8.0%
6人以上	19	2.7%
回答者合計	697	100.0%

(SA)



※「1人」と答えた人のうち、問2の5つ目の設問（世帯構成）で「単身世帯」以外を答えた人は、回答が矛盾するため集計から除いている。

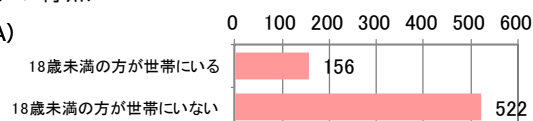
(2) 子育て世帯（18歳未満の方の有無）

18歳未満の方が世帯にいる割合は、全体の約23%である。

図表 18歳未満の方の有無

選択肢	人数	割合
18歳未満の方が世帯にいる	156	23.0%
18歳未満の方が世帯にいない	522	77.0%
回答者合計	678	100.0%

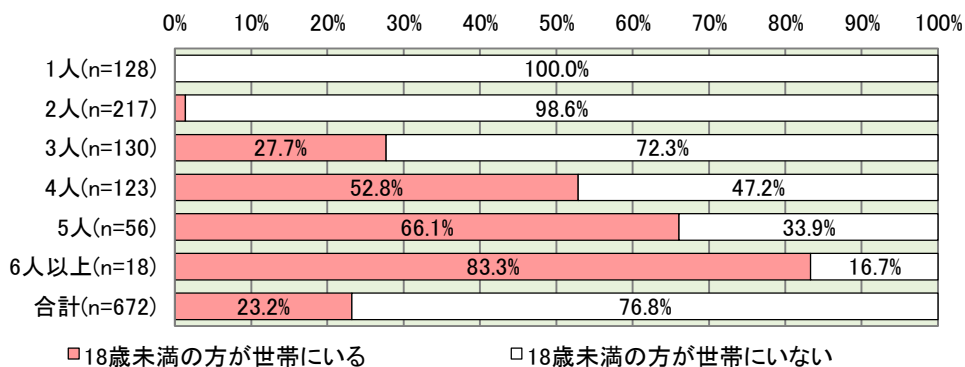
(SA)



※問2で世帯の人数を「1人」と回答している場合は、この設問の回答結果に拘わらず、「18歳未満の方が世帯にいない」に含めるように集計した（調査対象は18歳以上に限られるため）。同様に、問2で世帯の構成を「単身世帯」と回答している場合は、この設問の回答結果に拘わらず、「18歳未満の方が世帯にいない」に含めるように集計した。

世帯人員別に見ると、子育て世帯は基本的に3人以上の世帯の場合に該当する。特に4人以上の世帯は過半数が子育て世帯である。

図 18歳未満の方の有無（世帯人員別）



■ 18歳未満の方が世帯にいる

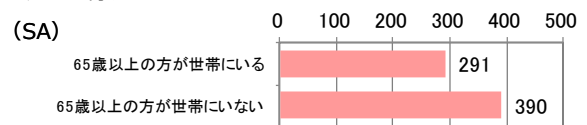
□ 18歳未満の方が世帯にいない

(3) 高齢者を含む世帯（65歳以上の方の有無）

65歳以上の方が世帯にいる割合は、全体の約43%である。

図表 65歳以上の方の有無

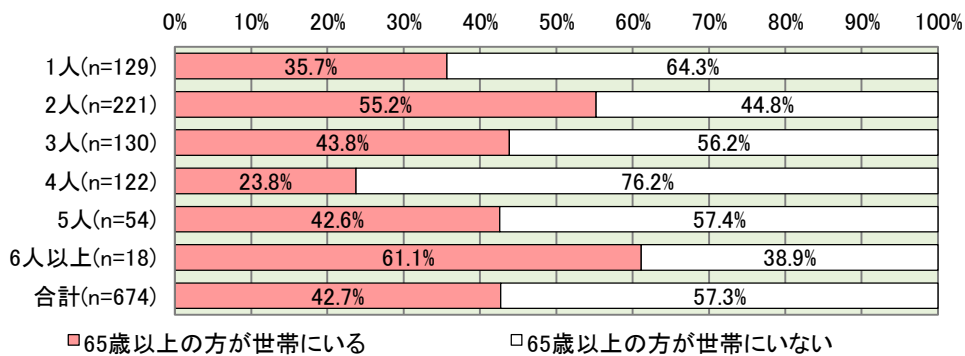
選択肢	人数	割合
65歳以上の方が世帯にいる	291	42.7%
65歳以上の方が世帯にいない	390	57.3%
回答者合計	681	100.0%



※問1で回答者自身の年齢を「65～70歳」または「70歳以上」と回答している場合は、この設問の回答結果に拘わらず、「65歳以上の方が世帯にいる」に含めるように集計した。

世帯人員別に見ると、高齢者を含む世帯はどの規模の世帯でも約2割～約6割が該当する。単身世帯のうち、自身が高齢者の世帯は約36%である。

図 65歳以上の方の有無（世帯人員別）



(4) 昨年1年間の世帯収入

世帯収入は200万円未満が最も多く約18%、次いで200～300万円が約17%、次いで300～400万円と400～500万円が多くどちらも約13%である。500万円未満の世帯は、全体の約61%を占める。

年収別の職業を見ると、200万円未満の世帯のうち約53%は「無職」であり、約27%は「パート・アルバイト」である。また、世帯年収が上がるほど「会社員・団体職員」の占める割合が多くなる傾向が見られる。

図表 昨年1年間の世帯収入

選択肢	人数	割合
200万円未満	122	17.6%
200～300万円	115	16.6%
300～400万円	92	13.3%
400～500万円	91	13.1%
500～600万円	81	11.7%
600～800万円	88	12.7%
800～1,000万円	64	9.2%
1,000万円以上	40	5.8%
回答者合計	693	100.0%

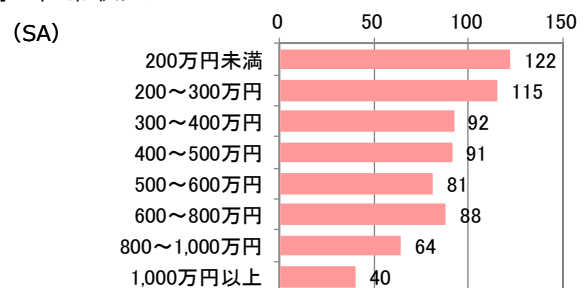
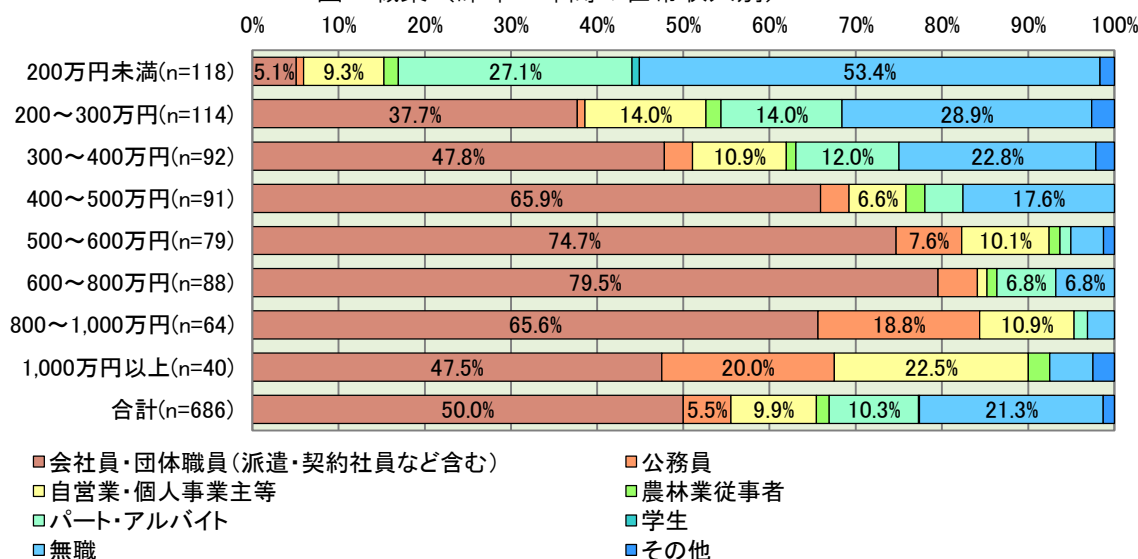


図 職業（昨年1年間の世帯収入別）



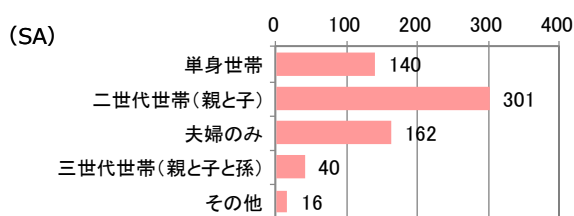
(5) 世帯の構成

世帯の構成は「二世帯世帯（親と子）」が最も多く約46%、次いで「夫婦のみ」が多く約25%、次いで「単身世帯」が多く約21%である。

なお、世帯の構成別に18歳未満の方の有無を見ると、二世帯世帯のうち子育て世帯は約4割、三世帯世帯のうち子育て世帯は約6割である。

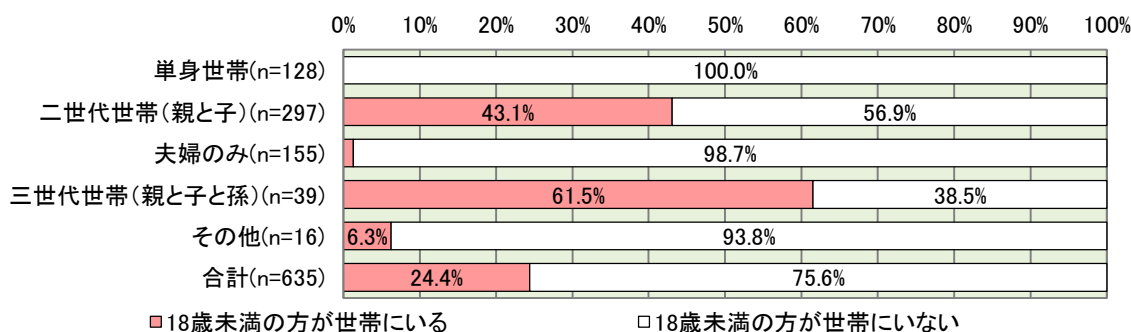
図表 世帯の構成

選択肢	人数	割合
単身世帯	140	21.2%
二世帯世帯(親と子)	301	45.7%
夫婦のみ	162	24.6%
三世帯世帯(親と子と孫)	40	6.1%
その他	16	2.4%
回答者合計	659	100.0%



※「単身世帯」と答えた人のうち、問2の1つ目の設問（世帯人数）で「1人」以外を答えた人は、回答が矛盾するため集計から除いている。

図 18歳未満の方の有無（世帯構成別）

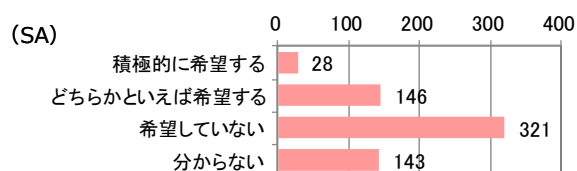


2.1.3. 離れて暮らす親や子との同居に関する意向（問3）

問2で「三世代世帯」以外と答えた方を対象に、離れて暮らす親や子との同居に関する意向を訊ねたところ、「希望していない」が約50%と最も多く、次いで「どちらかといえば希望する」が約23%、「分からない」が約22%であった。

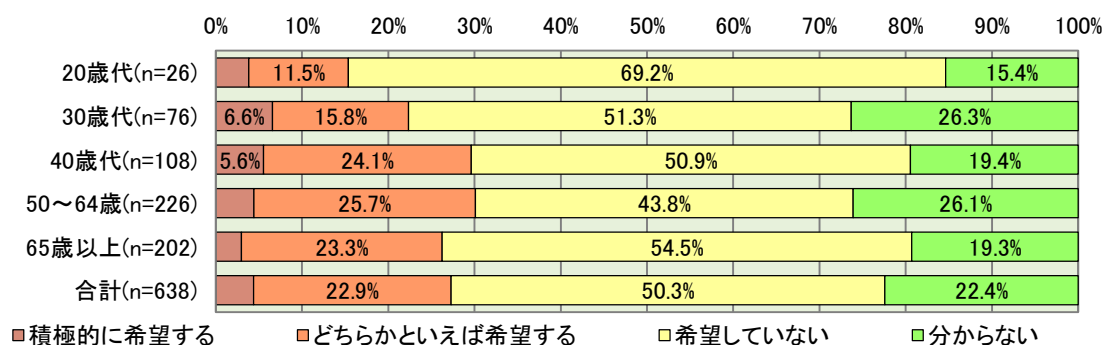
図表 離れて暮らす親や子との同居に関する意向

選択肢	人数	割合
積極的に希望する	28	4.4%
どちらかといえば希望する	146	22.9%
希望していない	321	50.3%
分からない	143	22.4%
回答者合計	638	100.0%



回答者の年齢別に見ると、20歳代は「希望していない」の割合が高く約69%、40歳代以降は「積極的に希望する」と「どちらかといえば希望する」の合計割合が約2割～約3割と比較的多くなっている。

図 離れて暮らす親や子との同居に関する意向（年齢別）



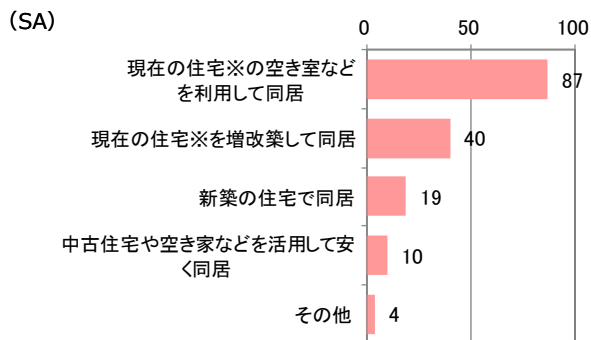
2.1.4. 希望する同居形態（問4）

問3で「積極的に希望する」と「どちらかといえば希望する」を選んだ方を対象に、希望する同居形態を訊ねたところ、「現在の住宅の空き室などを利用して同居」が最も多く約54%、次いで「現在の住宅を増改築して同居」が多く約25%であった。

図表 希望する同居形態

選択肢	人数	割合
現在の住宅※の空き室などを利用して同居	87	54.4%
現在の住宅※を増改築して同居	40	25.0%
新築の住宅で同居	19	11.9%
中古住宅や空き家などを活用して安く同居	10	6.3%
その他	4	2.5%
回答者合計	160	100.0%

※あなたの住んでいる住宅や、親または子の住宅

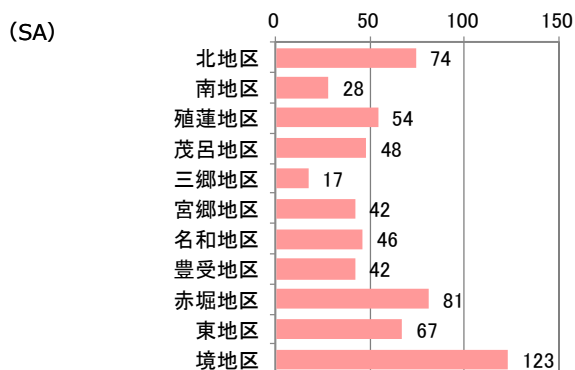


2.1.5. 居住地域（問5）

回答者の居住地域を見ると、旧伊勢崎市内（北地区～豊受地区）の合計割合が約57%、赤堀地区が約13%、東地区が約11%、境地区が約20%であった。

図表 居住地域

選択肢	人数	割合
北地区	74	11.9%
南地区	28	4.5%
殖蓮地区	54	8.7%
茂呂地区	48	7.7%
三郷地区	17	2.7%
宮郷地区	42	6.8%
名和地区	46	7.4%
豊受地区	42	6.8%
赤堀地区	81	13.0%
東地区	67	10.8%
境地区	123	19.8%
回答者合計	622	100.0%



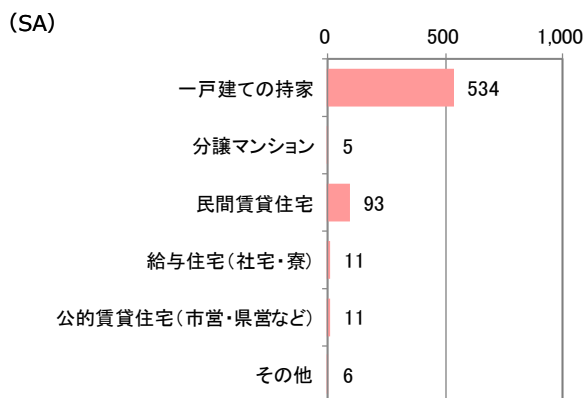
2.2. 現在の住宅や住環境の状況

2.2.1. 住宅の種類（問6）

回答者の住宅の種類を見ると、一戸建ての持家が最も多く約81%、次いで民間賃貸住宅が多く約14%であった。

図表 住宅の種類

選択肢	人数	割合
一戸建ての持家	534	80.9%
分譲マンション	5	0.8%
民間賃貸住宅	93	14.1%
給与住宅(社宅・寮)	11	1.7%
公的賃貸住宅(市営・県営など)	11	1.7%
その他	6	0.9%
回答者合計	660	100.0%

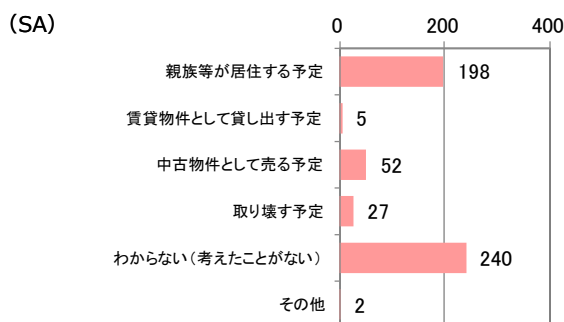


2.2.2. 住まなくなった後の想定（問7）

問6で「一戸建ての持家」を選んだ方を対象に、現在の住宅に住まなくなった後の使われ方を訊ねたところ、「わからない(考えたことがない)」が最も多く約46%、次いで「親族等が居住する予定」が多く約38%であった。

図表 住まなくなった後の想定

選択肢	人数	割合
親族等が居住する予定	198	37.8%
賃貸物件として貸し出す予定	5	1.0%
中古物件として売る予定	52	9.9%
取り壊す予定	27	5.2%
わからない(考えたことがない)	240	45.8%
その他	2	0.4%
回答者合計	524	100.0%



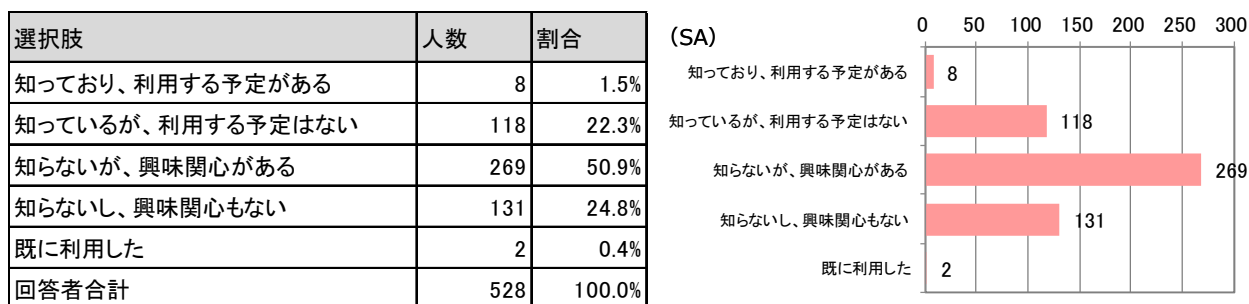
2.2.3. 空家の未然防止策の認知度（問8）

(1) 伊勢崎市無料空き家相談会

問6で「一戸建ての持家」を選んだ方を対象に、伊勢崎市無料空き家相談会の認知度を訊ねたところ、「知らないが、興味関心がある」が最も多く約51%、次いで「知らないし、興味関心もない」が多く約25%であった。

現在の認知度として「知っており、利用する予定がある」と「知っているが、利用する予定はない」の合計割合を見ると、全体の約24%である。一戸建て持家の世帯主の約2割にしか同制度が知られていないが、興味関心は高いことが窺える。

図表 伊勢崎市無料空き家相談会の認知度

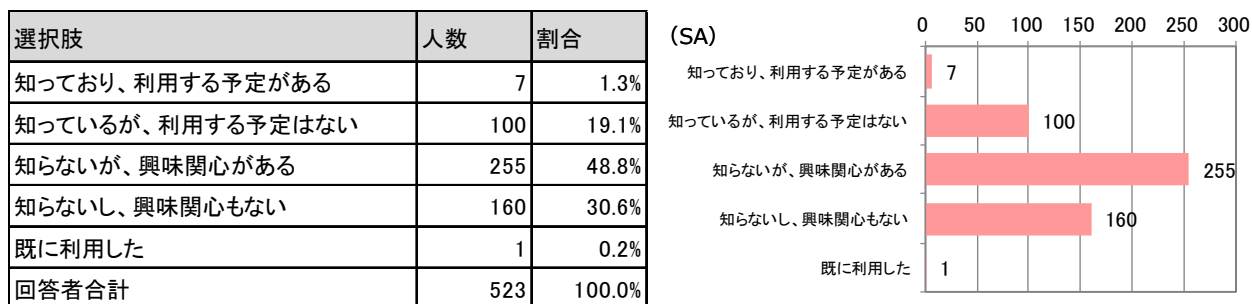


(2) 伊勢崎市空き家情報バンク

問6で「一戸建ての持家」を選んだ方を対象に、伊勢崎市空き家情報バンクの認知度を訊ねたところ、「知らないが、興味関心がある」が最も多く約49%、次いで「知らないし、興味関心もない」が多く約31%であった。

現在の認知度として「知っており、利用する予定がある」と「知っているが、利用する予定はない」の合計割合を見ると、全体の約20%である。前述の無料相談会に関する設問と同様に、現在の認知度は一戸建て持家の世帯主の約2割と低いが、興味関心は高いことが窺える。

図表 伊勢崎市空き家情報バンクの認知度

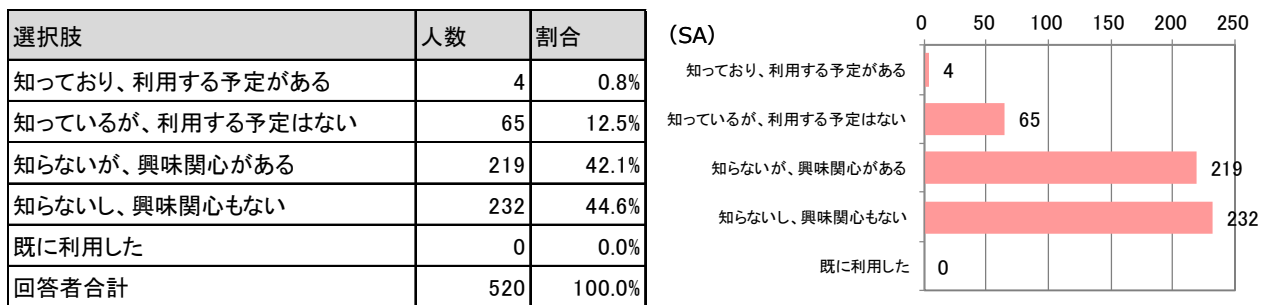


(3) 群馬県空き家活用・住みかえ支援事業

問6で「一戸建ての持家」を選んだ方を対象に、群馬県空き家活用・住みかえ支援事業の認知度を訊ねたところ、「知らないし、興味関心もない」が最も多く約45%、次いで「知らないが、興味関心がある」が多く約42%であった。

現在の認知度として「知っており、利用する予定がある」と「知っているが、利用する予定はない」の合計割合を見ると、全体の約13%である。前述の無料相談会や空き家情報バンクに比べると、現在の認知度や興味関心を持つ人の割合はやや低い。

図表 群馬県空き家活用・住みかえ支援事業の認知度

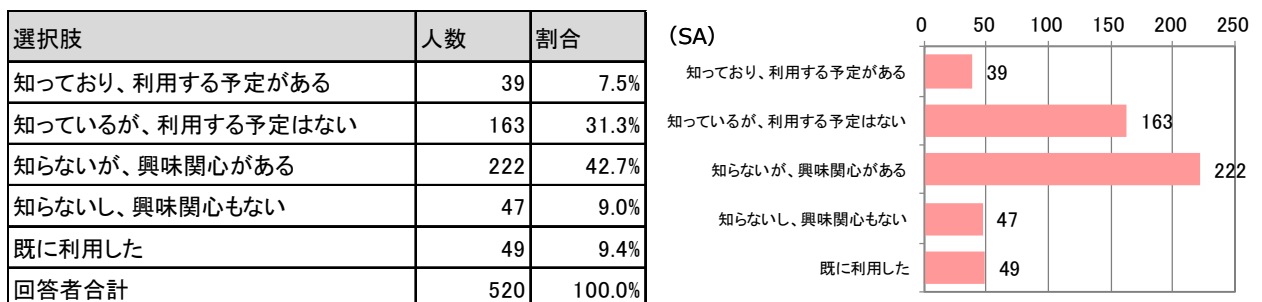


2.2.4. リフォーム支援の認知度（問9）

問6で「一戸建ての持家」を選んだ方を対象に、群馬県空き家活用・住みかえ支援事業の認知度を訊ねたところ、「知らないが、興味関心がある」が最も多く約43%、次いで「知っているが、利用する予定はない」が多く約31%であった。

現在の認知度として「知っており、利用する予定がある」と「知っているが、利用する予定はない」の合計割合を見ると、全体の約39%である。前述の空き家未然防止施策に比べると、現在の認知度はやや高い。

図表 リフォーム支援の認知度

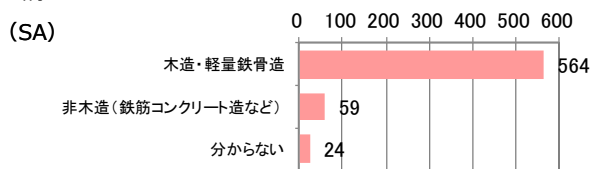


2.2.5. 住宅の構造（問10）

現在の住宅の構造は、「木造・軽量鉄骨造」が最も多く約87%、次いで「非木造（鉄筋コンクリート造など）」が多く約9%であった。

図表 住宅の構造

選択肢	人数	割合
木造・軽量鉄骨造	564	87.2%
非木造（鉄筋コンクリート造など）	59	9.1%
分からない	24	3.7%
回答者合計	647	100.0%

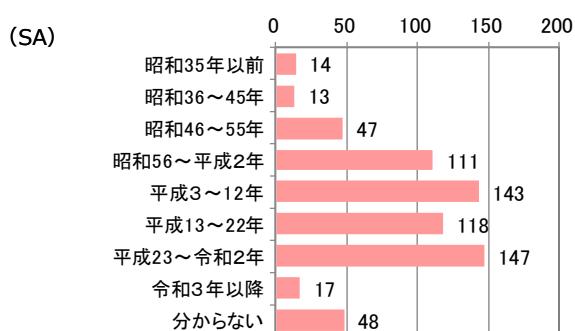


2.2.6. 住宅の完成時期（問11）

現在の住宅の完成時期は、「平成23～令和2年」が最も多く約22%、次いで「平成3～12年」が多く約22%、次いで「平成13～22年」が多く約18%であった。旧耐震基準が適用された昭和55年以前の合計割合は全体の約11%である。

図表 住宅の完成時期

選択肢	人数	割合
昭和35年以前	14	2.1%
昭和36～45年	13	2.0%
昭和46～55年	47	7.1%
昭和56～平成2年	111	16.9%
平成3～12年	143	21.7%
平成13～22年	118	17.9%
平成23～令和2年	147	22.3%
令和3年以降	17	2.6%
分からない	48	7.3%
回答者合計	658	100.0%

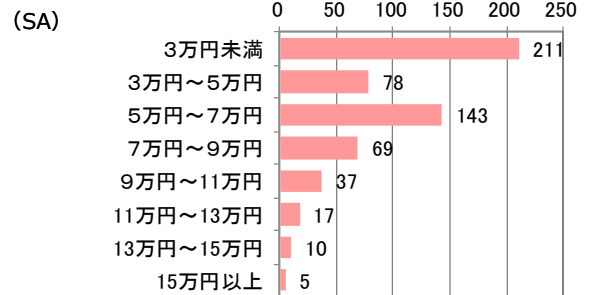


2.2.7. 毎月の住居費（問12）

毎月の住居費は、「3万円未満」が最も多く約37%、次いで「5万円～7万円」が多く約25%、次いで「3万円～5万円」が多く約14%であった。

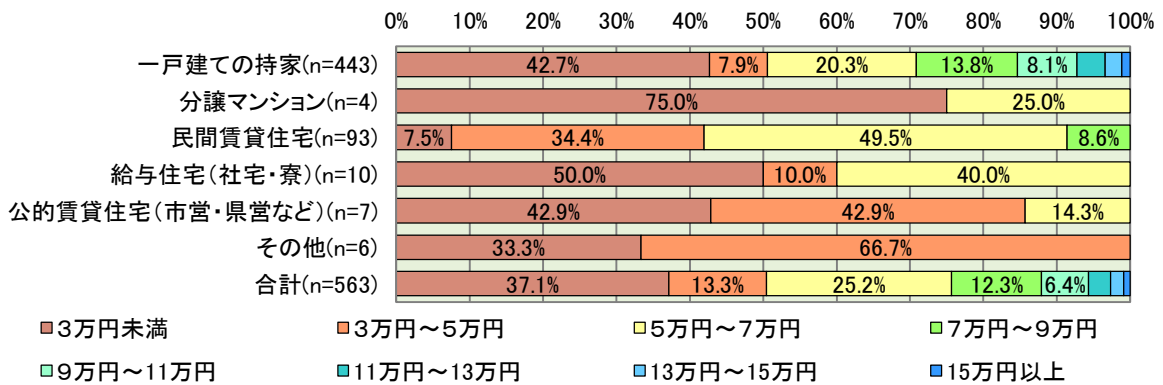
図表 毎月の住居費

選択肢	人数	割合
3万円未満	211	37.0%
3万円～5万円	78	13.7%
5万円～7万円	143	25.1%
7万円～9万円	69	12.1%
9万円～11万円	37	6.5%
11万円～13万円	17	3.0%
13万円～15万円	10	1.8%
15万円以上	5	0.9%
回答者合計	570	100.0%



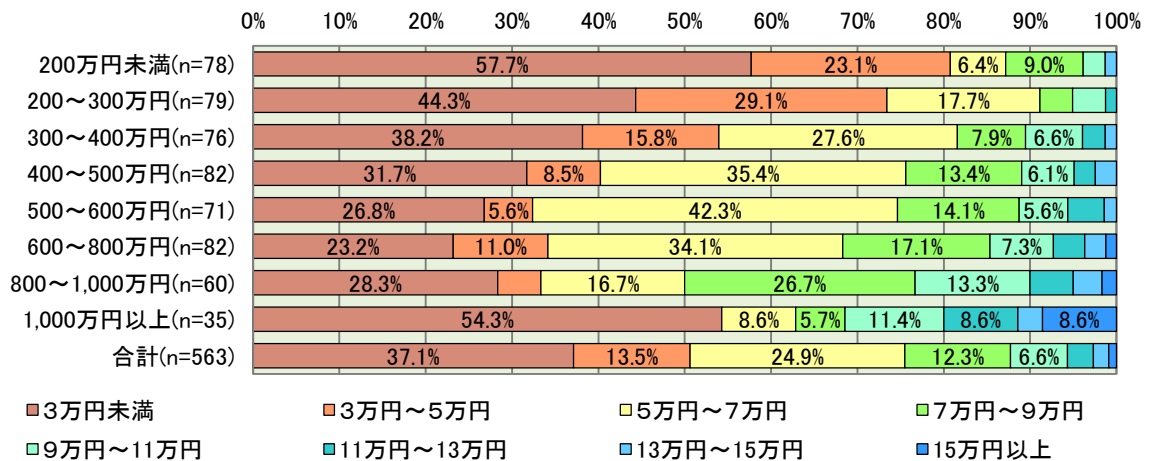
住宅の種類別に見ると、「一戸建ての持家」は「3万円未満」が最も多く約43%、民間賃貸住宅は「5万円～7万円」が多く約50%となっている。

図 毎月の住居費（住宅の種類別）



また、世帯年収別に見ると、概ね世帯年収が高い人ほど毎月の住居費が高くなる傾向が読み取れる。

図 毎月の住居費（世帯年収別）



2.2.8. 住居費負担度（問2と問12）

問2の世帯年収と、問12の毎月の住居費のそれぞれの回答を以下のように代表値に変換した上で、年収に占める住居費負担の割合を算出した。

10%ずつの区分で集計したところ、回答者の中で最も多いのは負担度10～20%であり、約43%であった。次いで10%未満が多く約35%、次いで20～30%が多く約13%であった。

表 問2 世帯年収の選択肢と代表値

問2 世帯年収	
選択肢	代表値
200万円未満	150万円
200～300万円	250万円
300～400万円	350万円
400～500万円	450万円
500～600万円	550万円
600～800万円	700万円
800～1,000万円	900万円
1,000万円以上	1,100万円

表 問12 毎月の住居費の選択肢と代表値

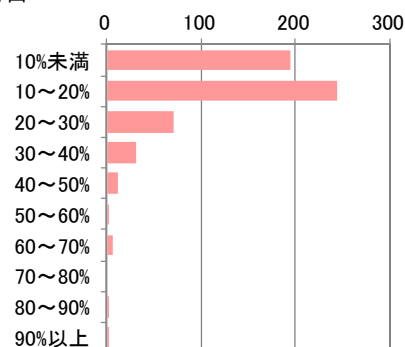
問12 毎月の住居費	
選択肢	代表値
3万円未満	1.5万円
3万円～5万円	4万円
5万円～7万円	6万円
7万円～9万円	8万円
9万円～11万円	10万円
11万円～13万円	12万円
13万円～15万円	14万円
15万円以上	16万円

※代表値の変換に際しては、最大値と最小値の幅がある選択肢は両者の中間値を取り、〇〇未満や〇〇以上の選択肢は、その前後の選択肢の最大値と中間値の差分だけ加減した値とした。ただし毎月の住居費に関しては、欄外の回答等で負担なしと記載する回答が多数見られたことから、0～3万円の中間値である1.5万円とした。

図表 年収に占める住居費負担の割合

選択肢	人数	割合
10%未満	195	34.6%
10～20%	244	43.3%
20～30%	71	12.6%
30～40%	31	5.5%
40～50%	11	2.0%
50～60%	1	0.2%
60～70%	7	1.2%
70～80%	0	0.0%
80～90%	2	0.4%
90%以上	1	0.2%
回答者合計	563	100.0%

(SA)

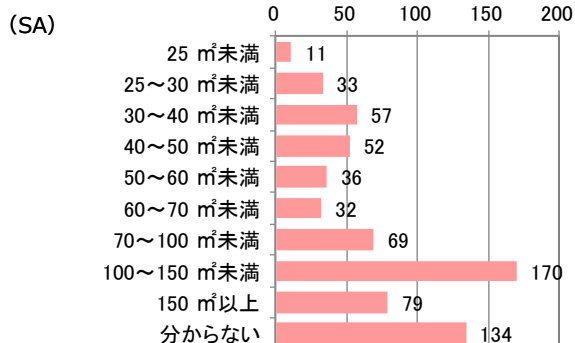


2.2.9. 住宅の広さ（問13）

住宅の広さは、「100～150㎡未満」が最も多く約25%、次いで「分からない」が多く約20%、次いで「150㎡以上」が多く約12%であった。

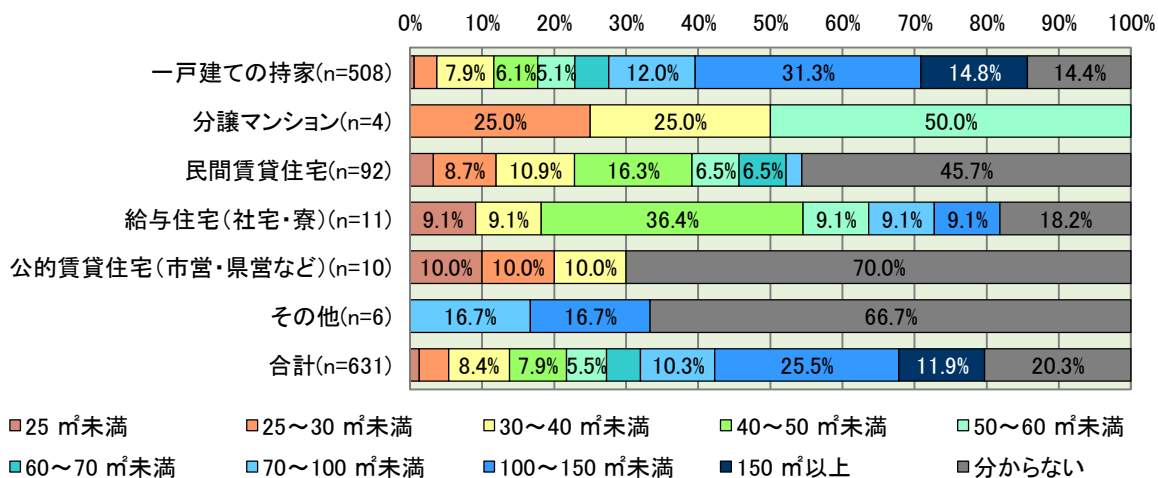
図表 住宅の広さ

選択肢	人数	割合
25㎡未満	11	1.6%
25～30㎡未満	33	4.9%
30～40㎡未満	57	8.5%
40～50㎡未満	52	7.7%
50～60㎡未満	36	5.3%
60～70㎡未満	32	4.8%
70～100㎡未満	69	10.3%
100～150㎡未満	170	25.3%
150㎡以上	79	11.7%
分からない	134	19.9%
回答者合計	673	100.0%



住宅の種類別に見ると、「一戸建ての持家」は「100～150㎡未満」が最も多く約31%である。民間賃貸住宅は「分からない」が最も多く46%、次いで「40～50㎡未満」が最も多く約16%である。

図 住宅の広さ（住宅の種類別）



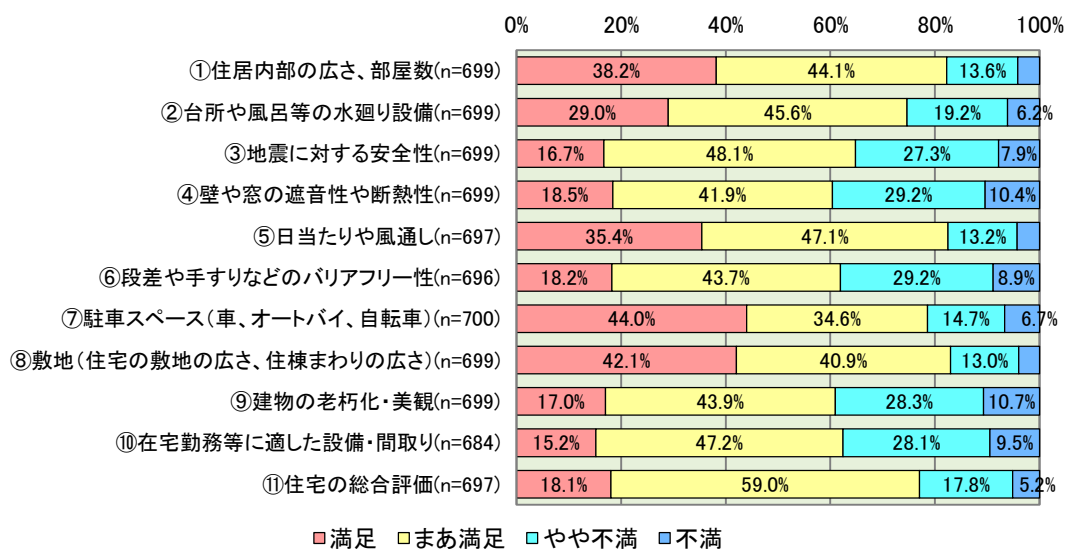
2.2.10. 住宅や住環境の満足度と重要度（問14）

(1) 住宅に対する現在の満足度

住宅に対する現在の満足度を見る。「満足」と「まあ満足」の合計割合は、「⑧敷地（住宅の敷地の広さ、住棟まわりの広さ）」と「⑤日当たりや風通し」がどちらも約83%と最も高く、次いで「①住居内部の広さ、部屋数」高く約82%となっている。

反対に「やや不満」と「不満」の合計割合は、「④壁や窓の遮音性や断熱性」が最も高く約40%、次いで「⑨建物の老朽化・美観」が高く約39%、次いで「⑥段差や手すりなどのバリアフリー性」がと「⑩在宅勤務等に適した設備・間取り」が約37%と続く。

図 住宅に対する現在の満足度

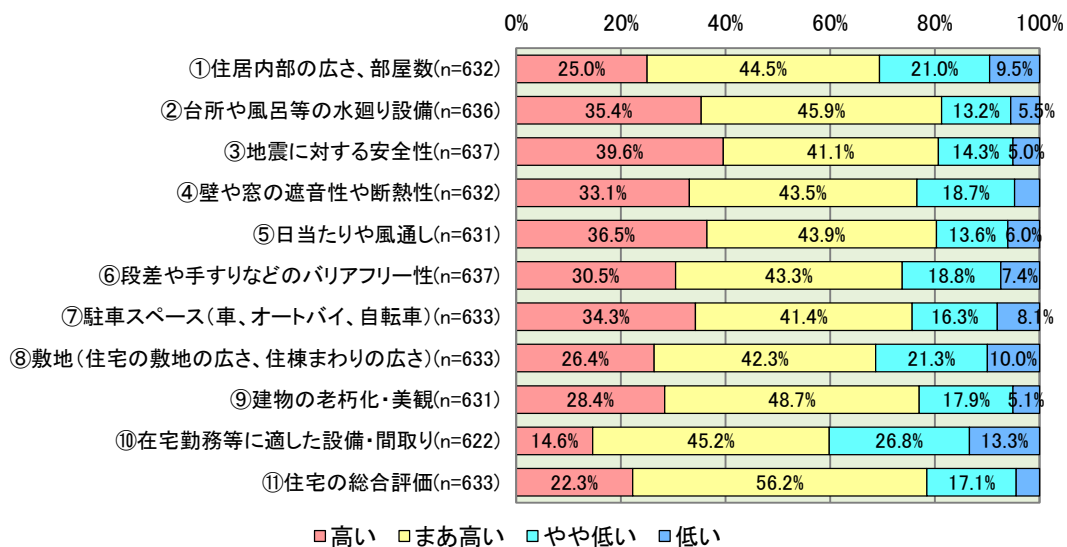


(2) 住宅に対する今後の重要度

住宅に対する今後の重要度を見る。重要度が「高い」と「まあ高い」の合計割合は、「②台所や風呂等の水廻り設備」と「③地震に対する安全性」が最も高く約81%、次いで「⑤日当たりや風通し」が高く約80%となっている。

反対に「低い」と「やや低い」の合計割合は、「⑩在宅勤務等に適した設備・間取り」が最も高く約40%、次いで「⑧敷地（住宅の敷地の広さ、住棟まわりの広さ）」が高く約31%、次いで「①住居内部の広さ、部屋数」が高く約30%である。

図 住宅に対する今後の重要度

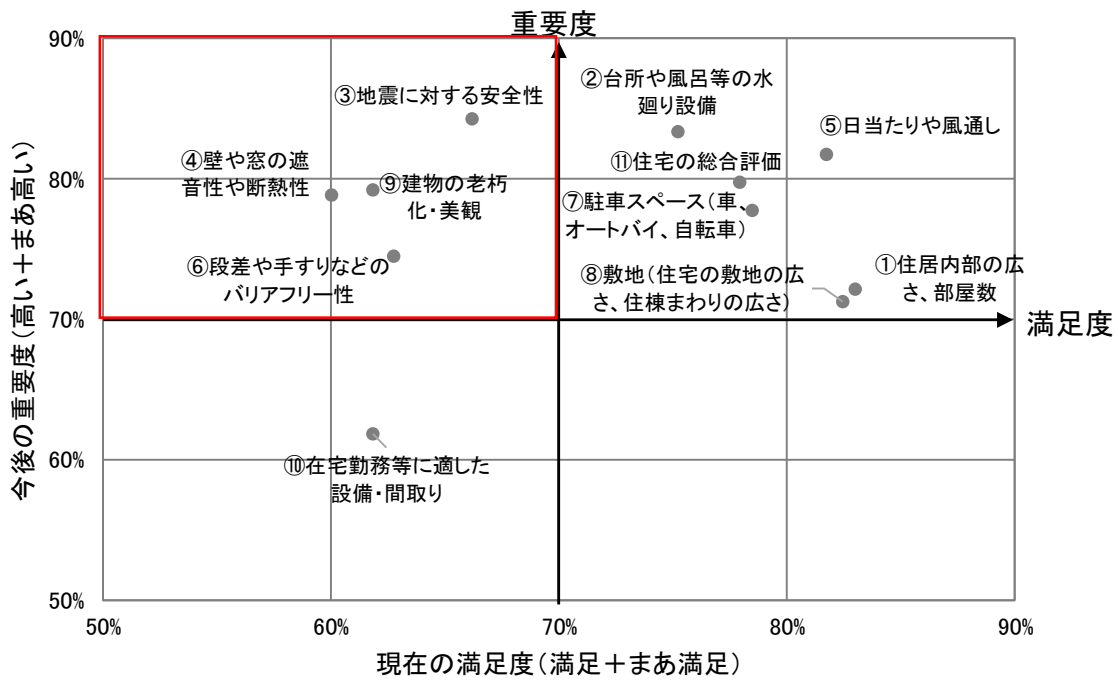


(3) 住宅に対する項目のうち特に改善が必要なもの

住宅に対する各項目を、満足度（「満足」と「まあ満足」の合計）と重要度（「高い」と「まあ高い」の合計）の両面から見る。満足度は低いが重要度が高い項目（グラフの赤枠内）は、「③地震に対する安全性」、「④壁や窓の遮音性や断熱性」、「⑥段差や手すりなどのバリアフリー性」、「⑨建物の老朽化・美観」が該当する。

なお、「⑩在宅勤務等に適した設備・間取り」は上記項目と同程度に満足度が低いですが、同時に重要度も低い。

図 住宅に対する項目のうち特に改善が必要なもの



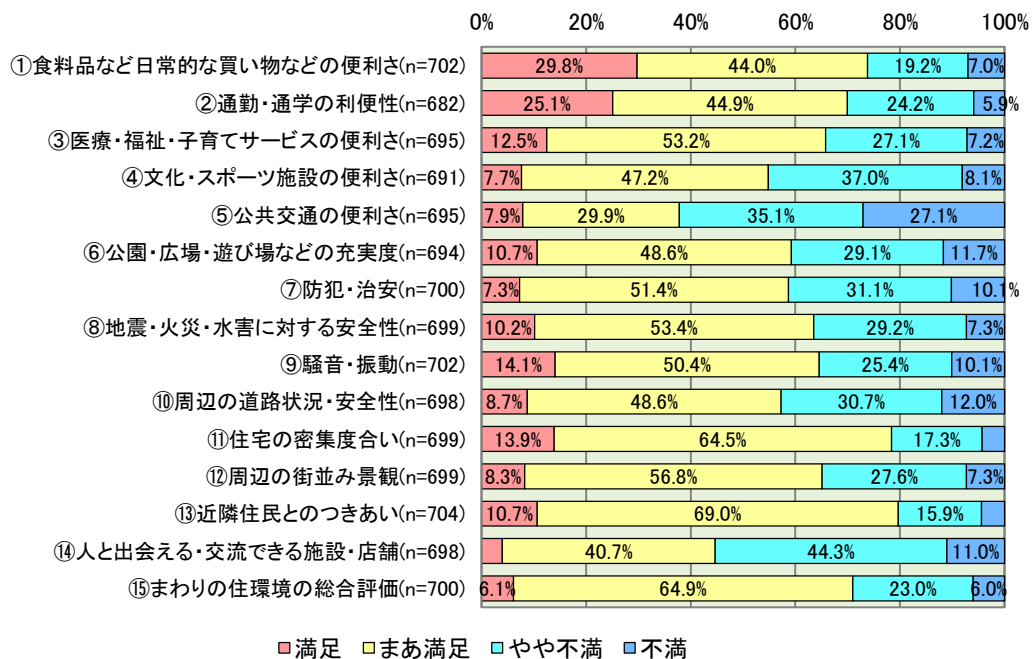
※問 14 の全ての項目に有効な回答（複数回答、無回答などでない回答）を行った回答者に限定して集計。

(4) 住環境に対する現在の満足度

住環境に対する現在の満足度を見る。「満足」と「まあ満足」の合計割合は、「⑬近隣住民とのつきあい」が最も高く約80%、次いで「⑪住宅の密集度合い」が高く約78%、次いで「①食料品など日常的な買い物などの便利さ」が高く約74%である。

反対に「やや不満」と「不満」の合計割合は、「⑤公共交通の便利さ」が最も高く約62%、次いで「⑭人と出会える・交流できる施設・店舗」が高く約55%、次いで「④文化・スポーツ施設の便利さ」が高く約45%である。

図 住環境に対する現在の満足度

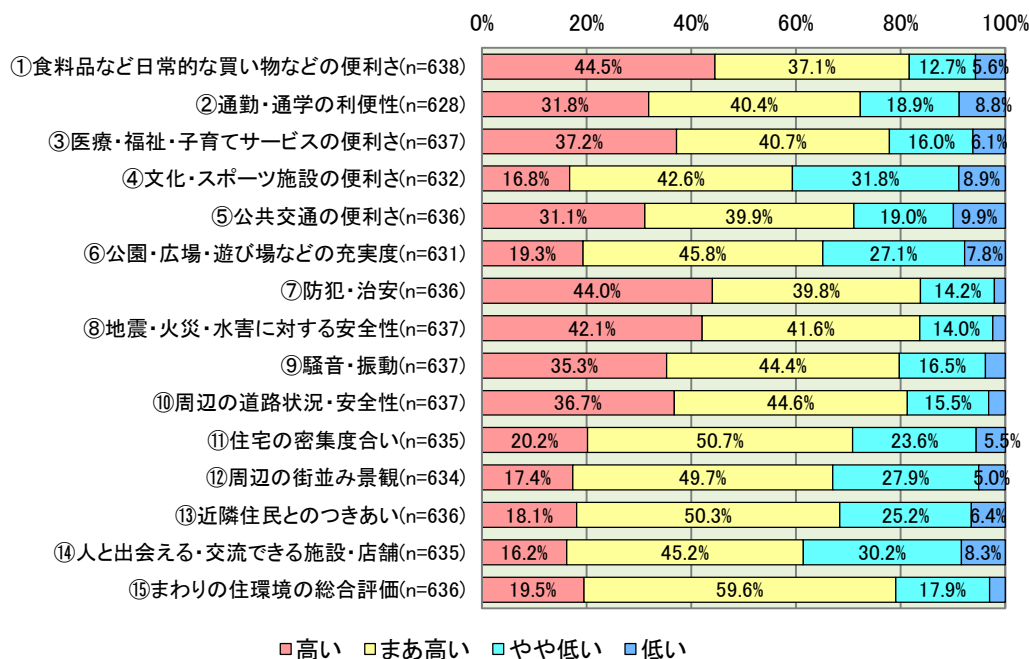


(5) 住環境に対する今後の重要度

住環境に対する今後の重要度を見る。重要度が「高い」と「まあ高い」の合計割合は、「⑦防犯・治安」と「⑧地震・火災・水害に対する安全性」が最も高くどちらも約84%、次いで「①食料品など日常的な買い物などの便利さ」が高く約82%、次いで「⑩周辺の道路状況・安全性」が約81%となっている。

反対に「低い」と「やや低い」の合計割合は、「④文化・スポーツ施設の便利さ」が最も高く約41%、次いで「⑭人と出会う・交流できる施設・店舗」が高く約39%、次いで「⑥公園・広場・遊び場などの充実度」が高く約35%である。

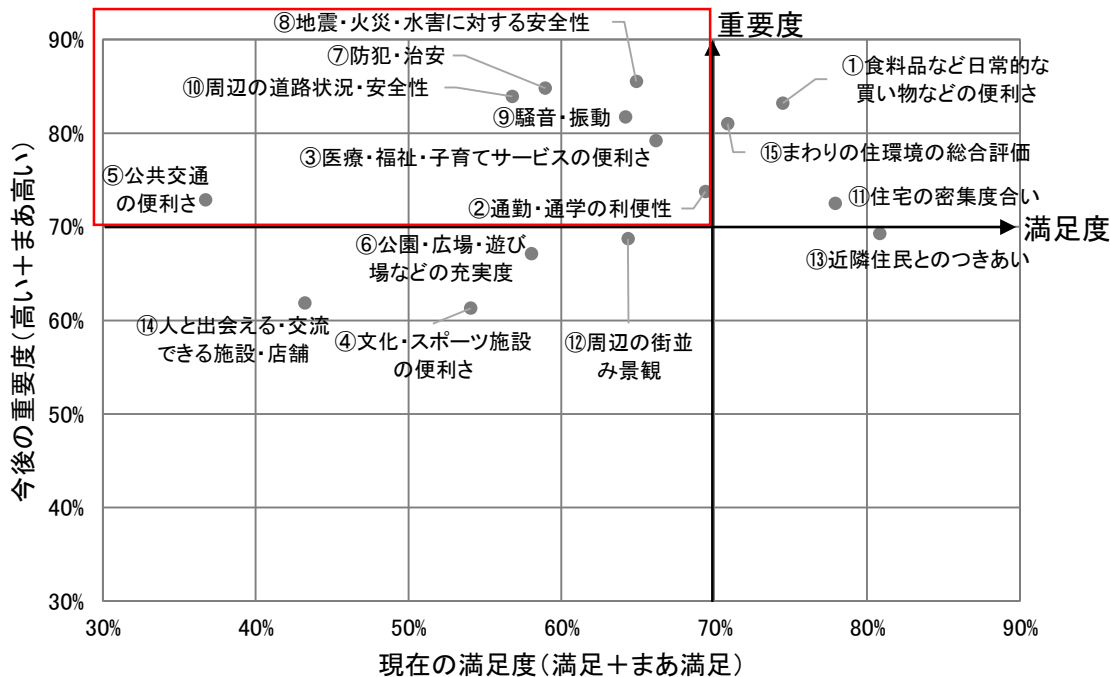
図 住環境に対する今後の重要度



(6) 住環境に対する項目のうち特に改善が必要なもの

住環境に対する各項目を、満足度（「満足」と「まあ満足」の合計）と重要度（「高い」と「まあ高い」の合計）の両面から見る。満足度は低いが重要度が高い項目（グラフの赤枠内）は、「②通勤・通学の利便性」、「③医療・福祉・子育てサービスの利便さ」、「⑤公共交通の利便さ」、「⑦防犯・治安」、「⑧地震・火災・水害に対する安全性」、「⑨騒音・振動」、「⑩周辺の道路状況・安全性」が該当する。

図 住環境に対する項目のうち特に改善が必要なもの



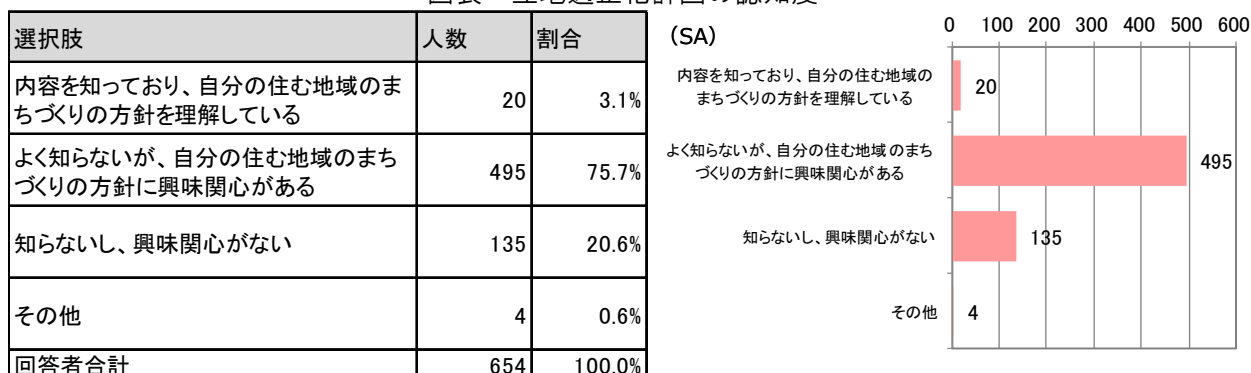
※問 14 の全ての項目に有効な回答（複数回答、無回答などでない回答）を行った回答者に限定して集計。

2.3. まちづくりの方針の認知度

2.3.1. 立地適正化計画の認知度（問15）

立地適正化計画に関する認知度を訊ねたところ、「内容を知っており、自分の住む地域のまちづくりの方針を理解している」と答えた人は全体の約3%であった。一方で、「よく知らないが、自分の住む地域のまちづくりの方針に興味関心がある」と答えた人は全体の約76%であり、まちづくりに対する興味関心の高さが窺える。

図表 立地適正化計画の認知度

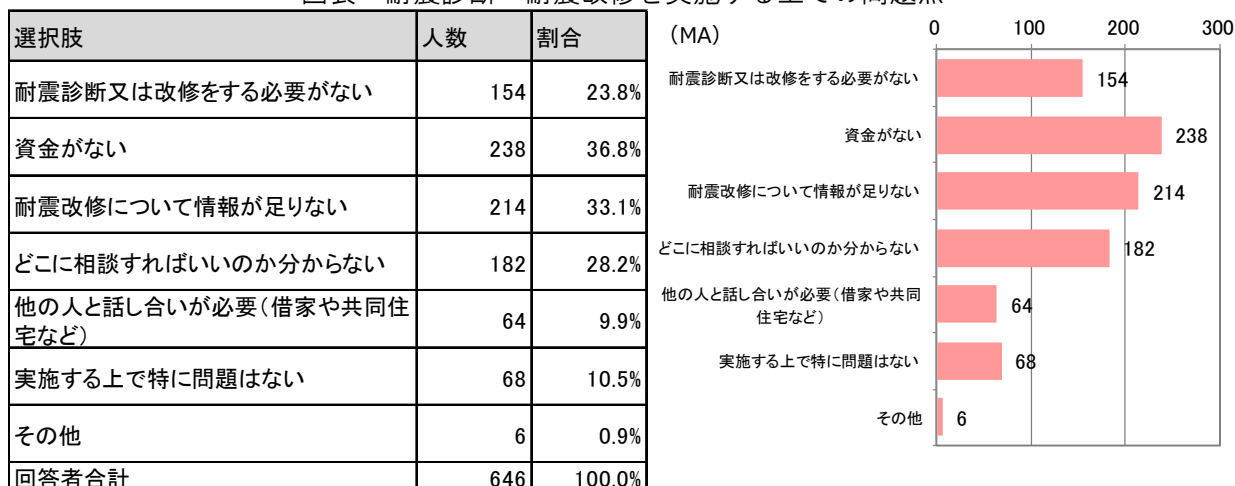


2.4. 地震・洪水・土砂災害などに対する備え

2.4.1. 耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点（問16 あてはまるものすべて選択）

耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点を訊ねたところ、「資金がない」と答えた人が全体の約37%と最も多く、次いで「耐震改修について情報が足りない」が約33%、次いで「どこに相談すればいいのか分からない」が約28%であった。

図表 耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点

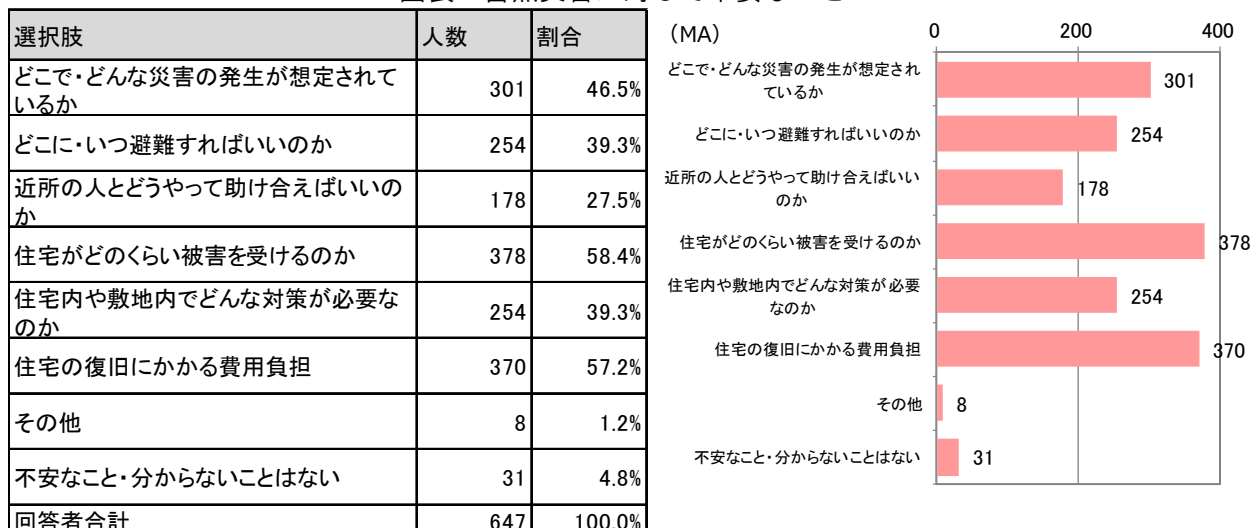


※「実施する上で特に問題はない」と答えた人のうち、他の選択肢も選んでいる人は、「実施する上で特に問題はない」に集計していない。

2.4.2. 自然災害に対して不安なこと（問17 あてはまるものすべて選択）

自然災害に対して不安なことを訊ねたところ、「住宅がどのくらい被害を受けるのか」が最も多く約58%、次いで「住宅の復旧にかかる費用負担」が多く約57%、次いで「どこで・どんな災害の発生が想定されるのか」が多く約47%であった。自身の住宅で想定される具体的な被害やその復旧のための費用、また災害リスク情報について関心が高いことが分かる。

図表 自然災害に対して不安なこと

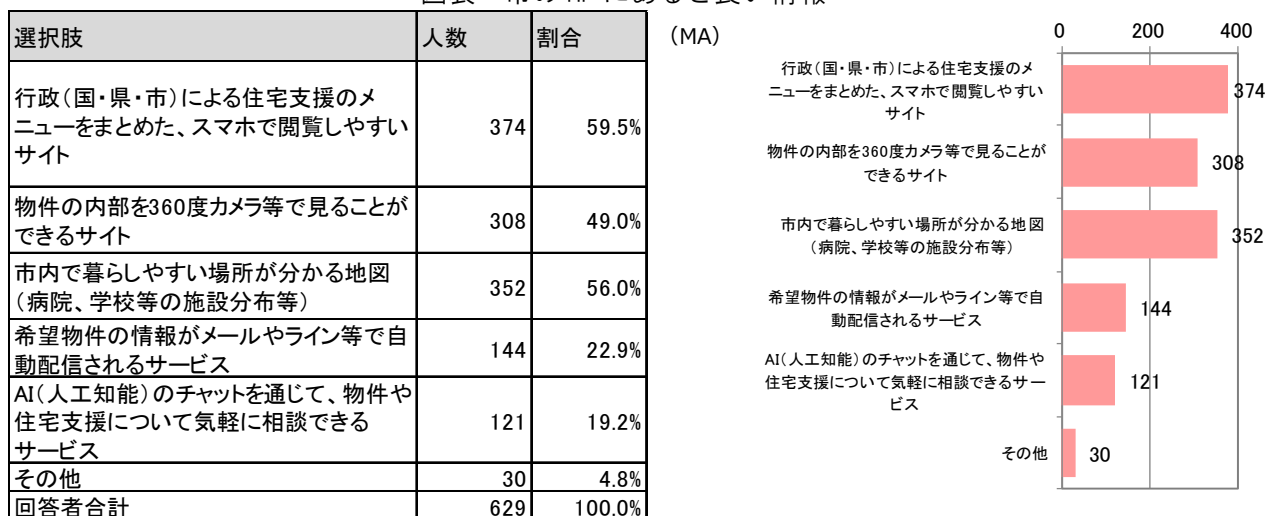


※「不安なこと・分からないことはない」と答えた人のうち、他の選択肢も選んでいる人は、「不安なこと・分からないことはない」に集計していない。

2.4.3. 市のHPにあると良い情報（問18 あてはまるものすべて選択）

市のHPにあると良い情報について訊ねたところ、「行政（国・県・市）による住宅支援のメニューをまとめた、スマホで閲覧しやすいサイト」が最も多く約60%、次いで「市内で暮らしやすい場所が分かる地図（病院、学校等の施設分布等）」が多く約56%、次いで「物件の内部を360度カメラ等で見る事ができるサイト」が多く約49%であった。

図表 市のHPにあると良い情報

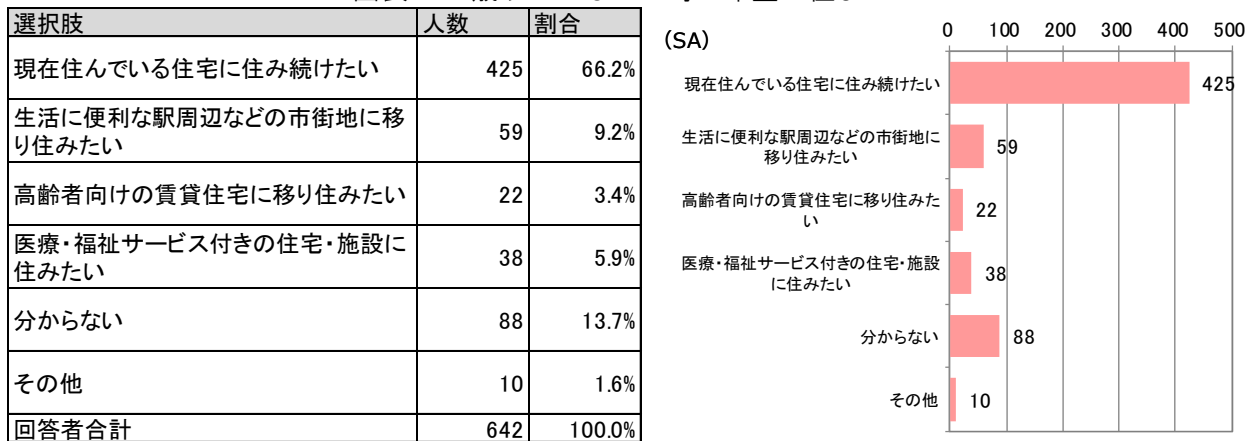


2.5. 65歳以上になった時の住まい

2.5.1. 65歳以上になった時の希望の住まい（問19）

65歳以上になった時の希望の住まいについて訊ねたところ、約66%の人が「現在住んでいる住宅に住み続けたい」と回答している。次いで「分からない」が多く約14%であった。便利な駅周辺や高齢者向けの賃貸住宅など、移住先のイメージがある人は全体の約2割である。

図表 65歳以上になった時の希望の住まい

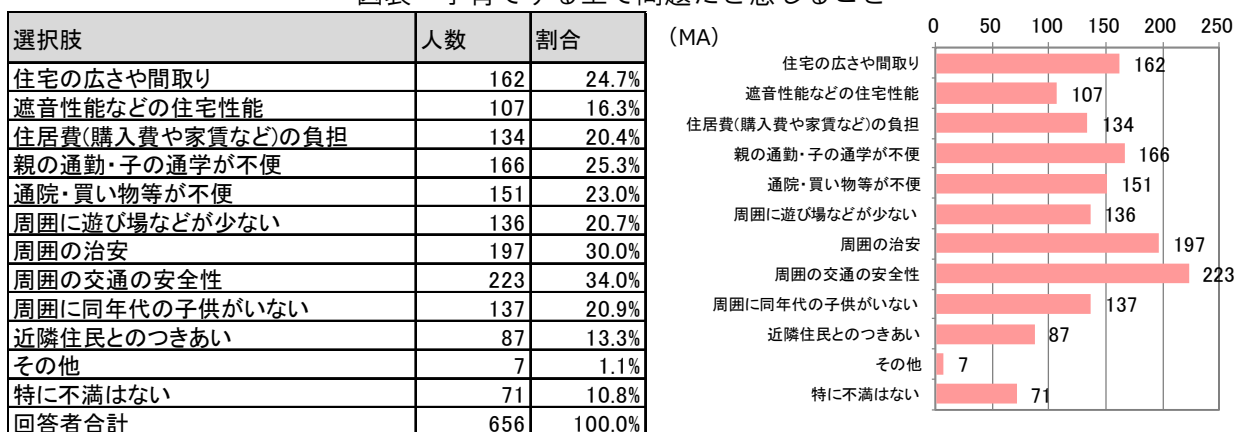


2.6. 子育てしやすい住宅・住環境

2.6.1. 子育てする上で問題だと感じること（問20 3つまで選択）

現在の住宅で子育てする上で問題だと感じることについて訊ねたところ、「周囲の交通の安全性」を挙げる人が最も多く約34%、次いで「周囲の治安」が多く約30%、次いで「親の通勤・子の通学が不便」が多く約25%であった。

図表 子育てする上で問題だと感じること



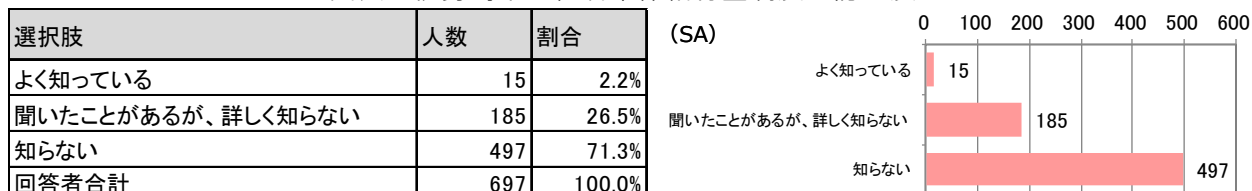
※設問の選択肢の制限を踏まえ、4つ以上回答している人は無効とした。

2.7. 生活困窮者への支援制度の認知度

2.7.1. 伊勢崎市の住居確保給付金制度（問 21）

伊勢崎市の住居確保給付金制度の認知度を訊ねたところ、「知らない」が最も多く約71%、「聞いたことがあるが、詳しく知らない」が多く約27%であった。

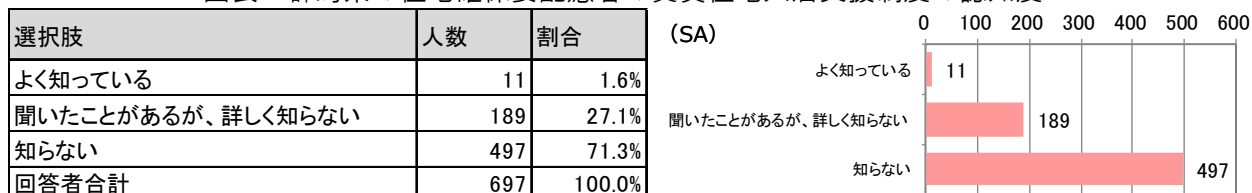
図表 伊勢崎市の住居確保給付金制度の認知度



2.7.2. 群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度（問 22）

群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅への入居支援制度の認知度を訊ねたところ、「知らない」が最も多く約71%、「聞いたことがあるが、詳しく知らない」が多く約27%であった。

図表 群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度の認知度

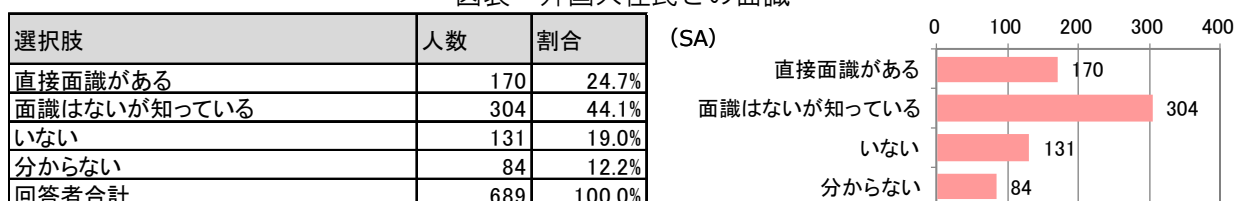


2.8. 外国人住民の住宅・住環境

2.8.1. 外国人住民との面識（問23）

近所や職場等での外国人住民との面識について訊ねたところ、「面識はないが知っている」が最も多く約44%、「直接面識がある」が多く約25%であった。全体の約7割弱が、外国人住民と同じ地域や職場等に属していることが窺える。

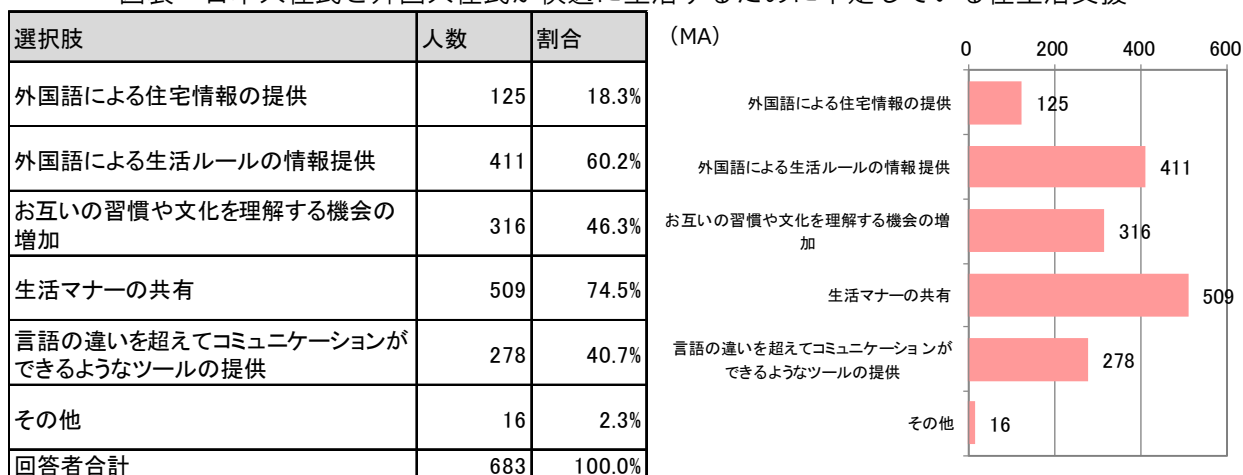
図表 外国人住民との面識



2.8.2. 日本人住民と外国人住民が快適に生活するために不足している住生活支援（問24 あてはまるものすべて選択）

日本人住民と外国人住民が同じ市内で快適に生活する上で不足している住生活の支援について訊ねたところ、「生活マナーの共有」が最も多く約75%、次いで「外国語による生活ルールの情報提供」が多く約60%、次いで「お互いの習慣や文化を理解する機会の増加」が多く約46%であった。

図表 日本人住民と外国人住民が快適に生活するために不足している住生活支援

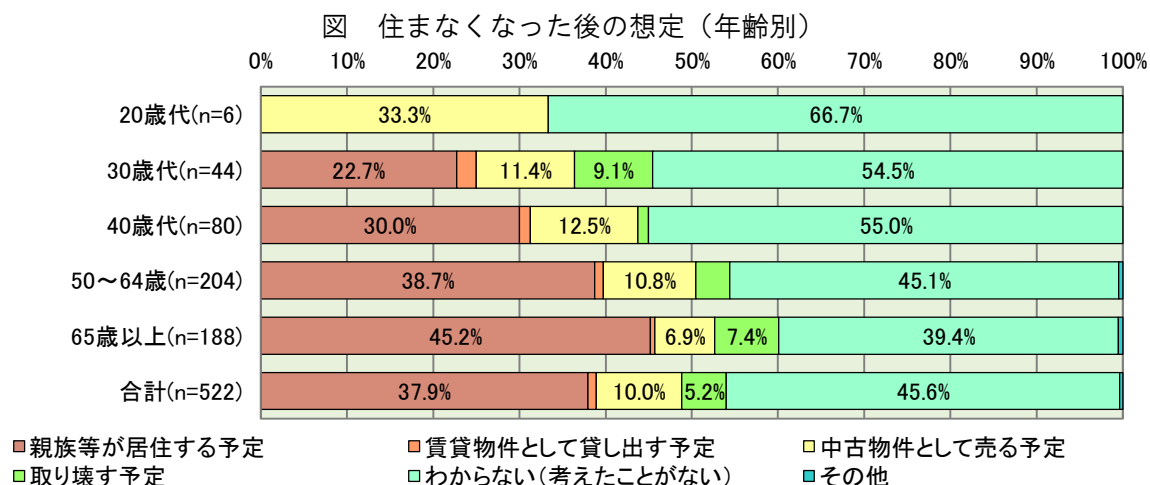


3. 目的別集計（クロス集計）の結果

3.1. 住宅分野（空き家対策）

3.1.1. 高齢者は住まなくなった後の想定ができていないか

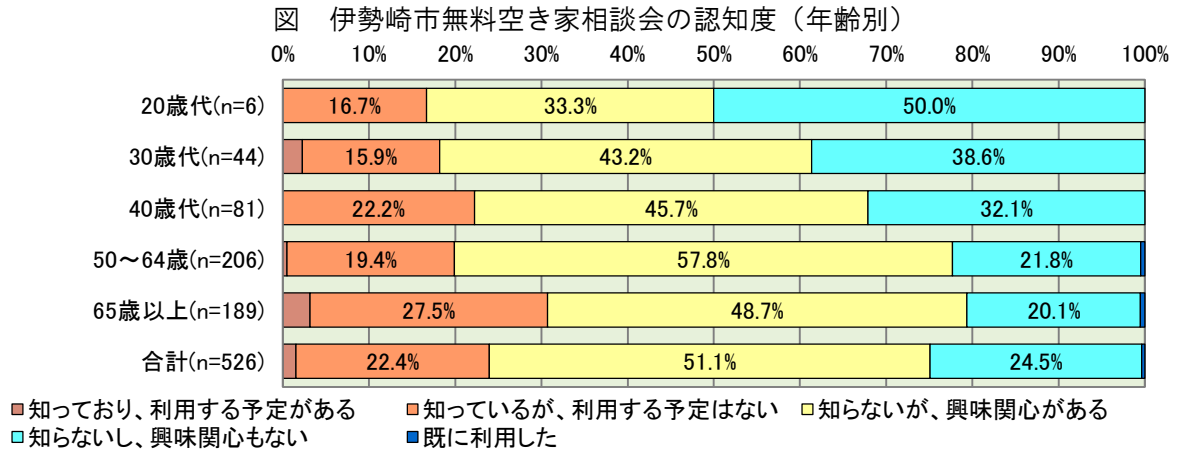
世帯主が住まなくなった後の現在の住宅の使われ方について年齢別にみると、年齢が上がるほど「わからない（考えたことがない）」の割合が減少し、「親族等が居住する予定」が増加している。年齢が上がるほど世帯主が住まなくなった後の状況を具体的に想定する人が多いことが読み取れる。一方で、65歳以上であっても4割弱の人が具体的な使われ方を想定できていない。



3.1.2. 高齢者は空き家未然防止施策を認知しているか

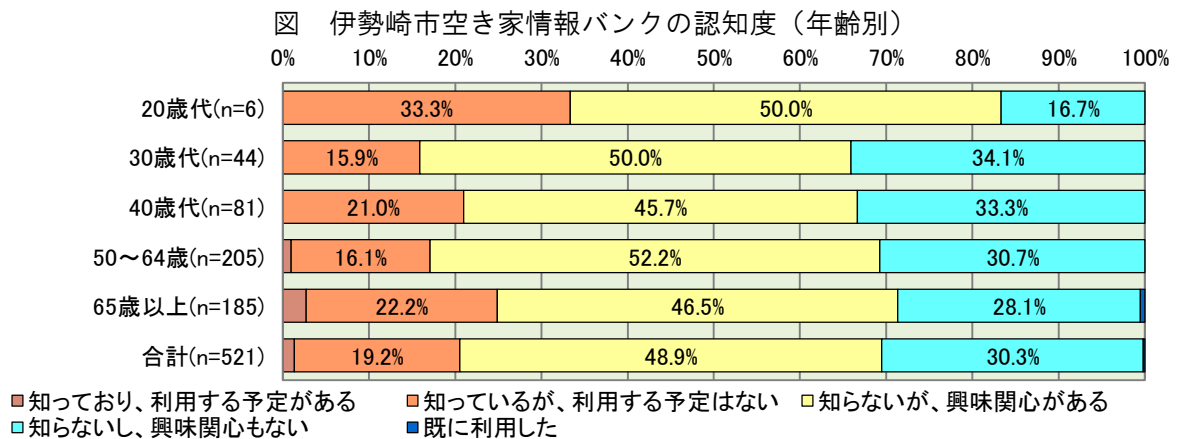
(1) 伊勢崎市無料空き家相談会

空き家になることを未然に防止するための施策の認知度について年齢別にみる。まず、伊勢崎市無料空き家相談会については、年齢が上がるほど「知らないが、興味関心がある」と答える割合が増加する傾向が見られる。これは年齢が上がるほど自宅の相続や売買などが喫緊の問題として関心が高まるためと考えられる。



(2) 伊勢崎市空き家情報バンク

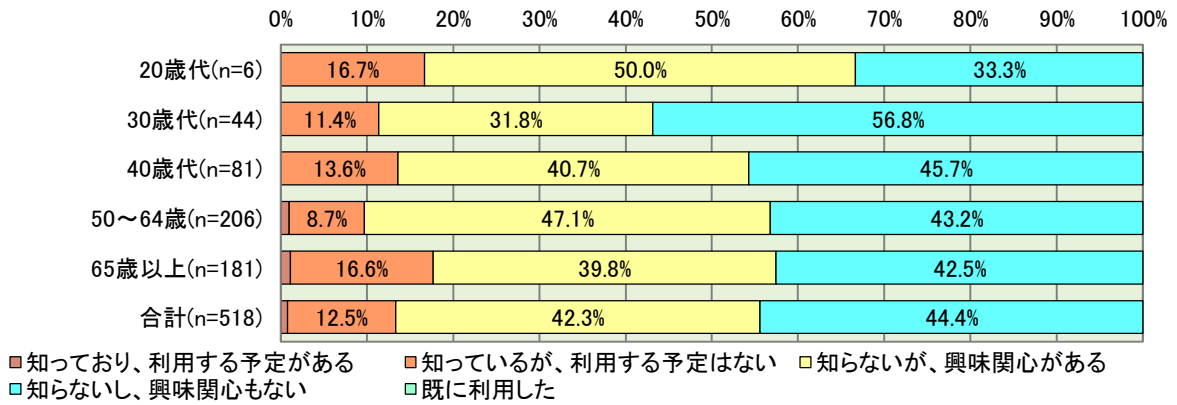
空き家情報バンクについては、どの年齢層の人も「知らないが、興味関心がある」が約5割であり、年齢層との関連性は見られない。これは空き家情報バンクの仕組みが自身の空き家を提供する人だけでなく、安く空き家を購入したい人にとってもニーズがあるためと考えられる。



(3) 群馬県空き家活用・住みかえ支援事業

群馬県空き家活用・住みかえ支援事業については、どの年齢層でも「知らないが、興味関心がある」が約3割～約5割であり、年齢層との関連性は見られない。同制度の借り上げの条件は50歳以上の方であるが、50歳以上と50歳未満の方の間で、認知度や興味関心に大きな差異は見られない。

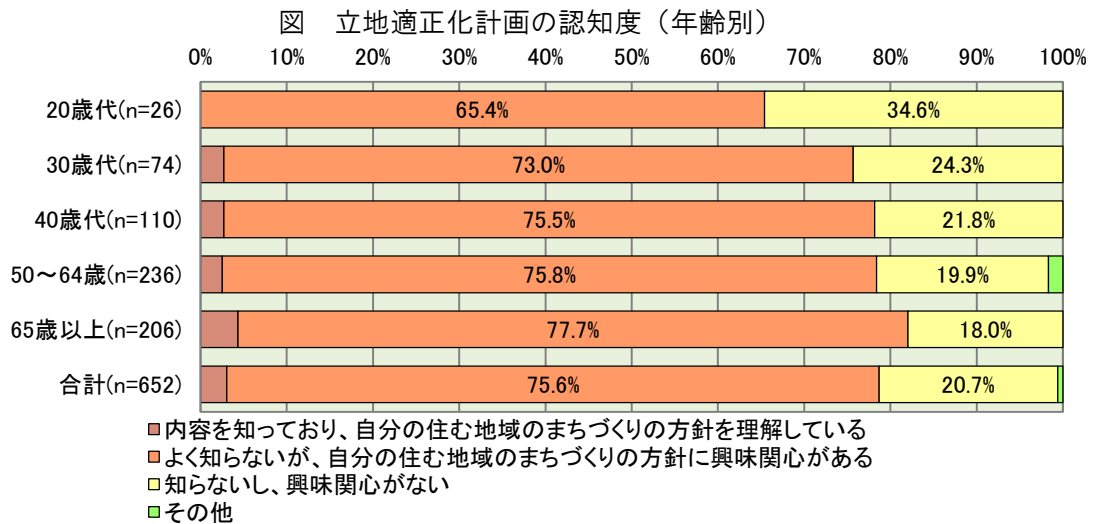
図 群馬県空き家活用・住みかえ支援事業の認知度（年齢別）



3.2. 都市計画分野（立地適正化計画）

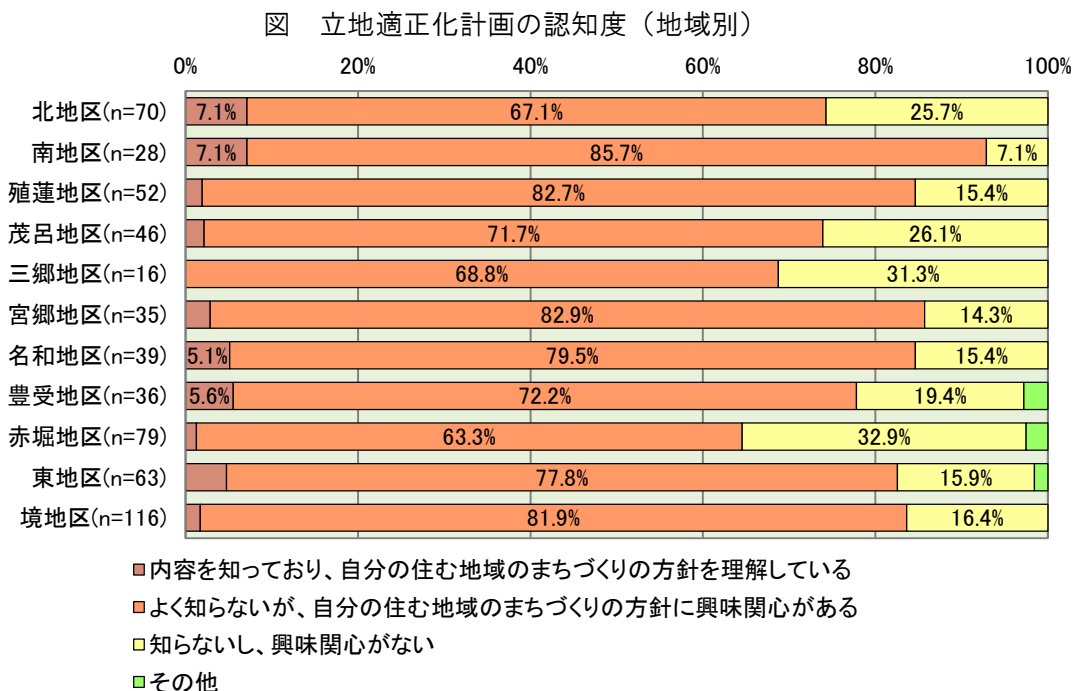
3.2.1. どの年齢層の人がまちづくりに興味関心があるか

立地適正化計画の認知度について年齢別にみると、どの年齢層でも「よく知らないが、自分の住む地域のまちづくりの方針に興味関心がある」と答えた人が約7割を占めている。これに「内容をよく知っており、自分の住む地域のまちづくりの方針を理解している」と答えた人と合わせた割合は、年齢が上がるほど高くなっている（20歳代は約65%、65歳以上は約82%）。



3.2.2. どの地域の人がまちづくりに興味関心があるか

立地適正化計画の認知度について地域別にみると、まちづくりの方針への興味関心が高いのは南地区であり、反対に三郷地区や赤堀地区は低い。南地区は本町1丁目を始め中心市街地を含むエリアであり、赤堀地区は旧赤堀町（非線引き都市計画区域）のエリア、三郷地区は波志江町を始め郊外の市街化区域縁辺部を含むエリアである。

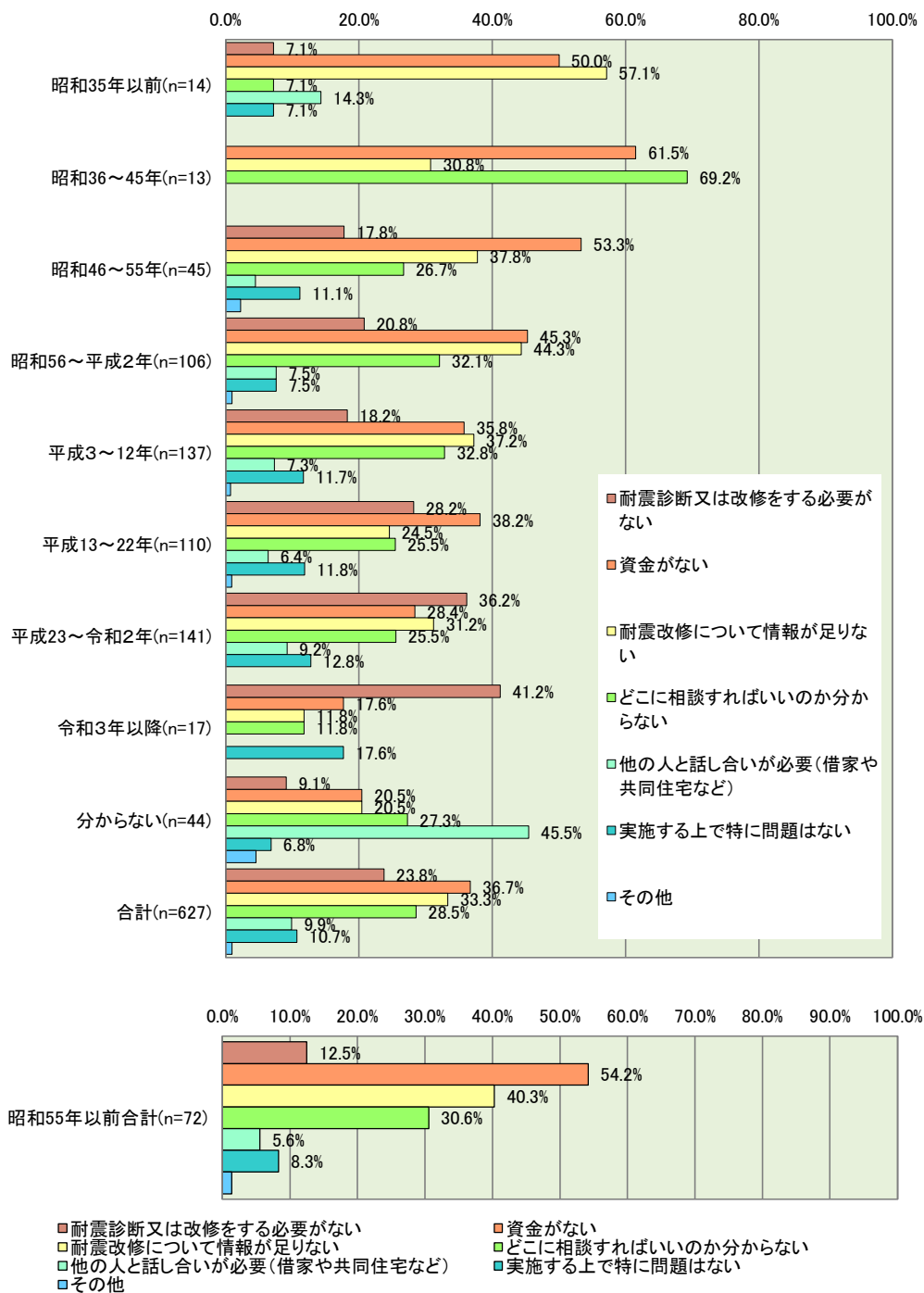


3.3. 防災分野（耐震改修、自然災害への備え）

3.3.1. 昭和55年以前の住宅に住む人は耐震改修等を実施する上で何がハードルなのか

耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点を住宅の完成時期別にみる。旧耐震基準で建築された昭和55年以前の住宅に住む人に着目すると、「資金がない」と答える人が最も多く約54%、次いで「耐震改修について情報が足りない」と答える人が多く約40%、次いで「どこに相談すればいいのかわからない」が多く約31%であった。

図 耐震診断・耐震改修を実施する上での問題点（住宅の完成時期別）

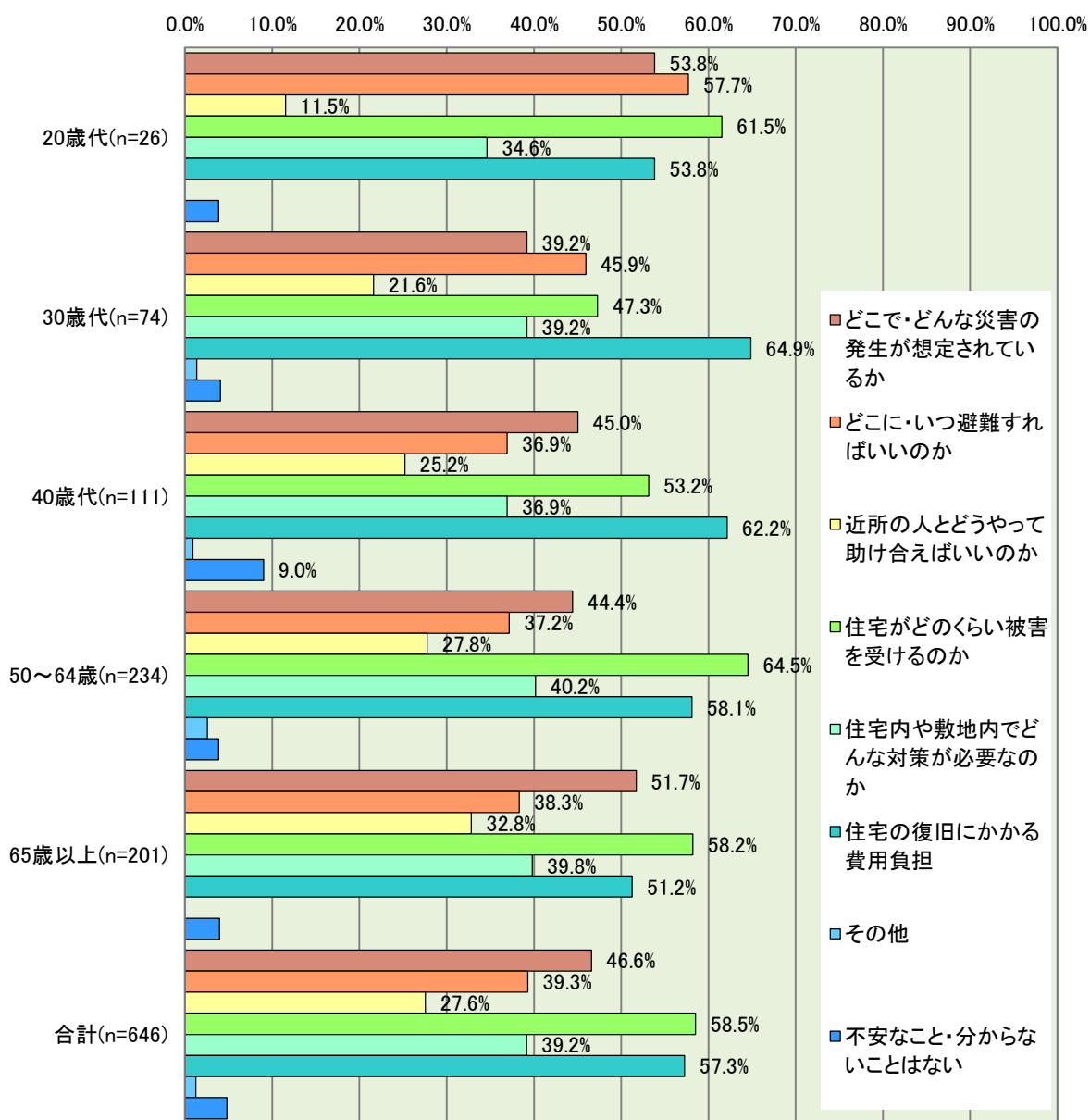


3.3.2. どの年齢層の人が自然災害にどのような不安を抱えているか

自然災害に対する不安なこと・分からないことを年齢別に見る。30歳代と40歳代は「住宅の復旧にかかる費用負担」を挙げる回答者が最も多く、約6割～約7割を占める。50歳代以上は「住宅がどのくらい被害を受けるのか」を挙げる回答者が最も多く、約6割～約7割であった。

「どこで・どんな災害の発生が想定されているか」の選択肢に着目すると、20歳代は約54%、65歳以上は約52%であり、30歳代～64歳の年齢層よりもやや高い。また「どこに・いつ避難すればいいのか」の選択肢に着目すると、20歳代は約58%、30歳代は約46%であり、40歳代以上は約3割～約4割となっている。災害リスクや避難先の情報への不安は、若い世代や高齢者が特に抱えていると推察される。

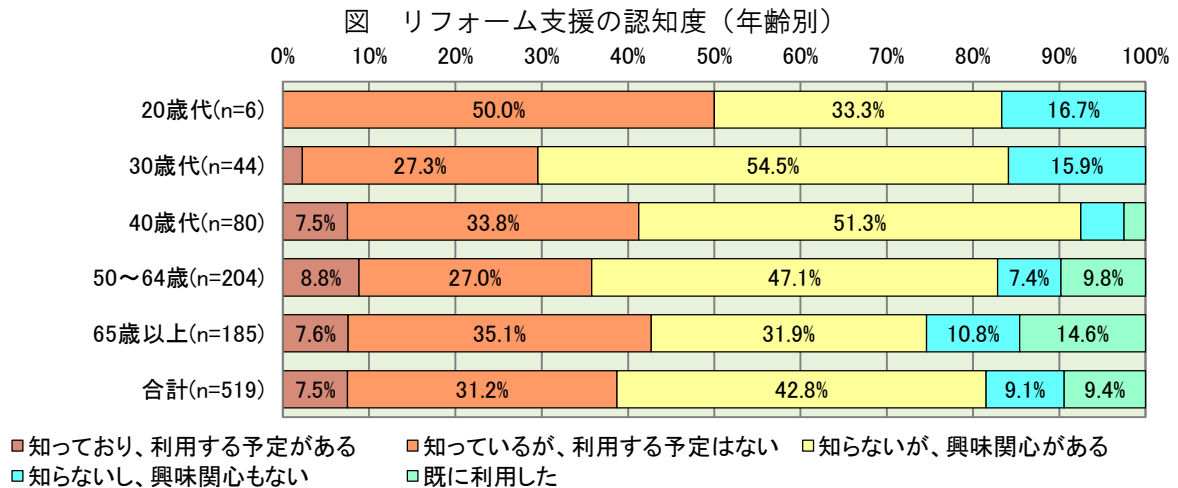
図 自然災害に対する不安なこと・分からないこと（年齢別）



3. 4. 環境分野（リフォーム支援施策の認知度）

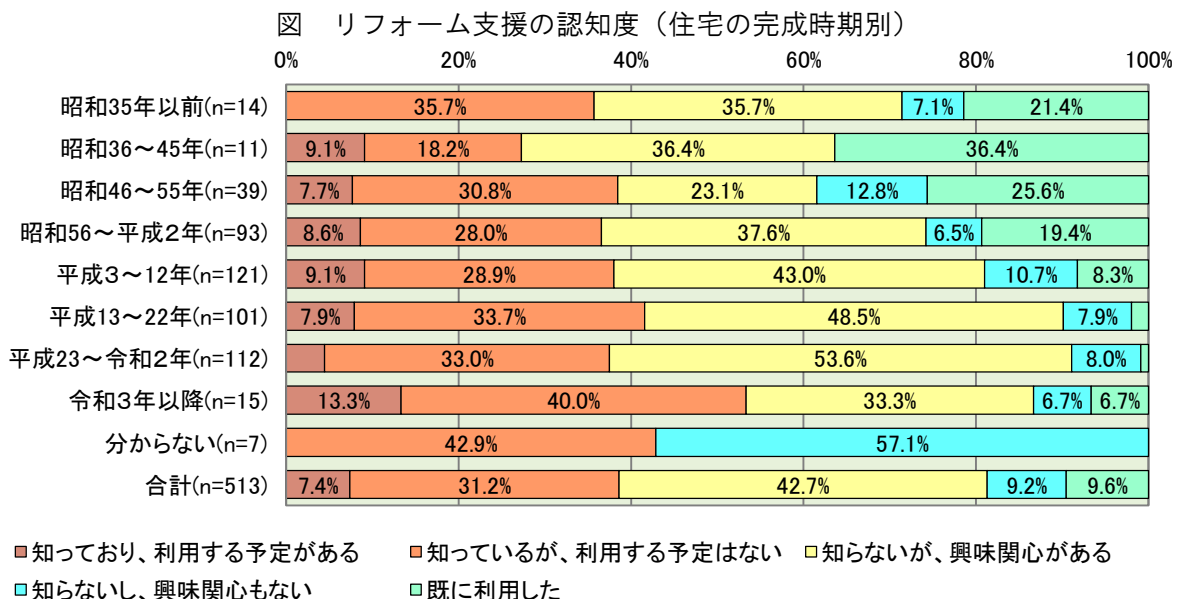
3. 4. 1. どの年齢層の人がリフォーム支援施策を認知しているか

相談会や補助金交付といったリフォーム支援施策の認知度を年齢別に見ると、年齢が上がるほど「知っており、利用する予定がある」や「既に利用した」の回答割合が高くなる。30歳代や40歳代は「知らないが、興味関心がある」の割合が約5割～約6割と他の年齢層に比べて高い。



3. 4. 2. いつ頃に完成した住宅の居住者がリフォーム支援施策を認知しているか

相談会や補助金交付といったリフォーム支援施策の認知度を住宅の完成時期別に見ると、古い住宅の居住者ほど「既に利用した」の割合が高い。また、新しい住宅の居住者ほど「知っているが、利用する予定はない」の割合が高いが、一方で「知らないが、興味関心がある」の割合も高い。比較的新しい平成23年～令和2年の住宅の居住者であっても、約54%が関心を寄せている。



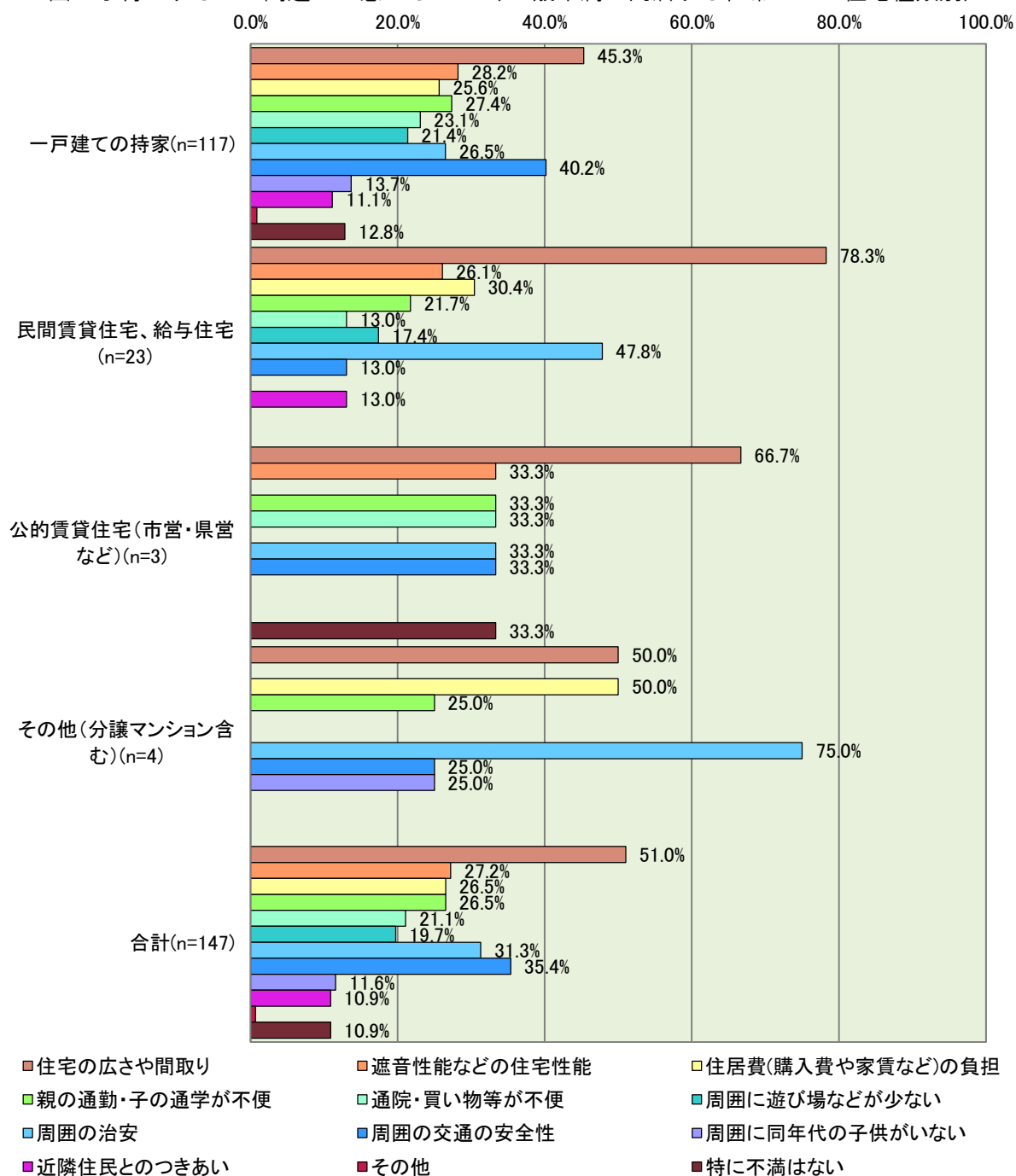
3.5. 子育て分野（子育てする上での問題）

3.5.1. 現在子育てしている人の子育てする上での問題（18歳未満と同居する世帯のみ）

18歳未満と同居する世帯に限定して、現在の住宅で子育てする上での問題を住宅種類別に見る。どの住宅種別でも「住宅の広さや間取り」を答える人が多く、特に民間賃貸住宅や公的賃貸住宅の世帯は約7割～約8割が問題視している。

一戸建て持家の世帯は、広さや間取りに次いで、「周辺の交通の安全性」が高く約40%であり、次いで「遮音性能などの住宅性能」が高く約28%である。

図 子育てする上で問題だと感じること（18歳未満と同居する世帯のみ・住宅種類別）

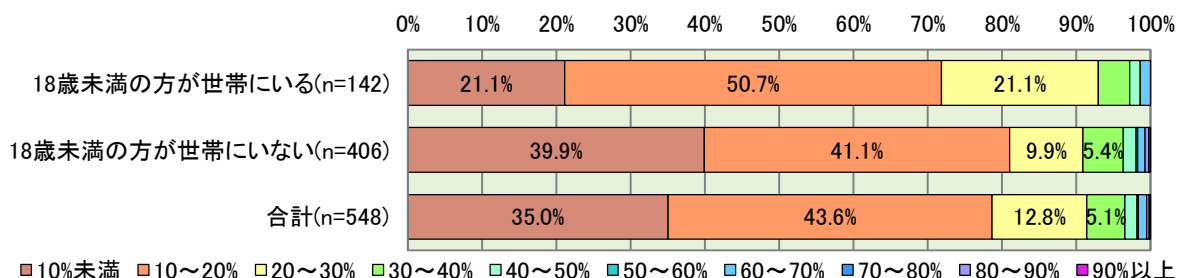


3.5.2. 子育てしている人の住居費負担はどの程度か

18歳未満の方の有無別に、世帯年収に占める住居費の割合を見ると、18歳未満の方がいる世帯の方が負担度20%以上の人が多い（18歳未満がいる世帯：約28%、いない世帯：約19%）。

なお、18歳未満の方がいる世帯もいない世帯も、「10～20%」が最も多く約4割～約5割である。

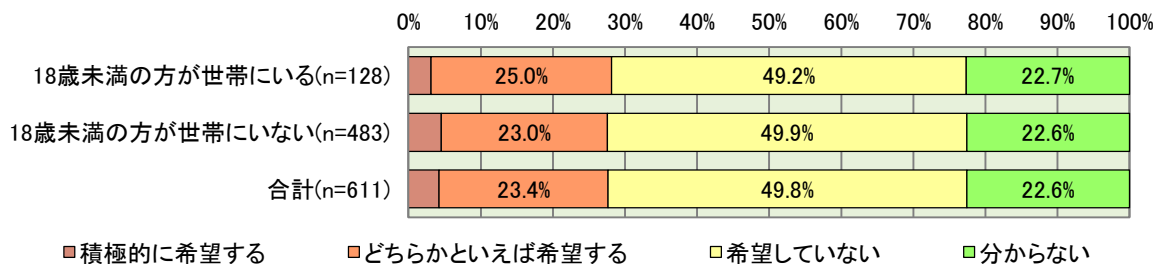
図 世帯年収に占める住居費の割合（18歳未満の方の有無別）



3.5.3. 子育てしている人は三世帯居住を希望しているか

18歳未満の方の有無別に、離れて暮らす子や親との三世帯居住の意向を見ると、18歳未満の方がいる世帯もいない世帯も、「積極的に希望する」と「どちらかといえば希望する」の合計割合はほぼ同程度の約3割弱であった。

図 離れて暮らす子や親との三世帯居住の意向（18歳未満の方の有無別）



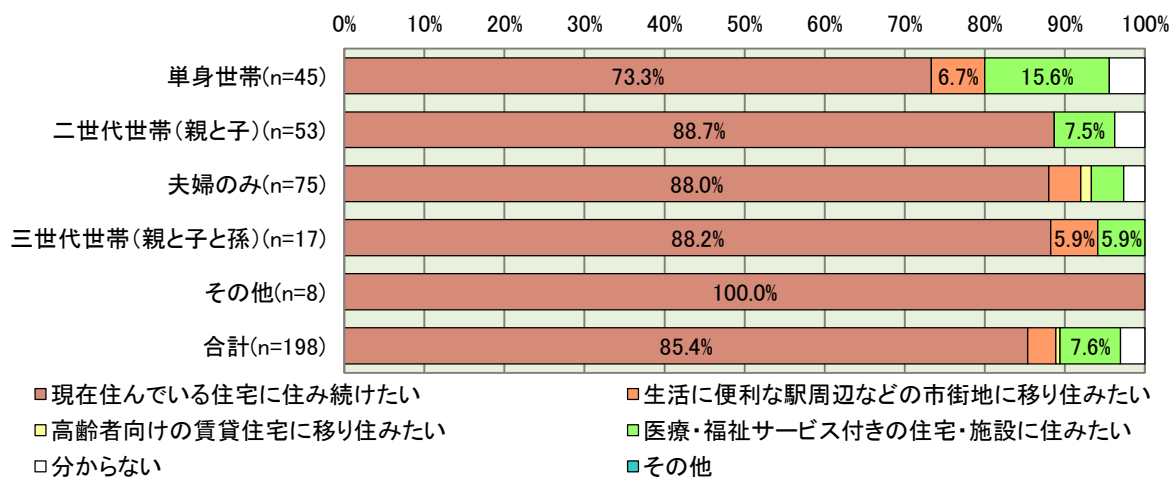
3. 6. 高齢者福祉分野（希望する住宅）

3. 6. 1. 高齢者の状況によって希望する住宅にどのような差があるか

年齢が65歳以上の回答に限定して、世帯構成別に希望する住まいについて訊ねたところ、便利な駅周辺や高齢者向けの賃貸住宅に移り住むことを希望する人は、特に単身世帯に多い（約22%）。

なお、どのような世帯構成でも「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が約7割以上と最も多い。

図 65歳以上になったときに希望する住宅（年齢が65歳以上の回答者のみ・世帯構成別）

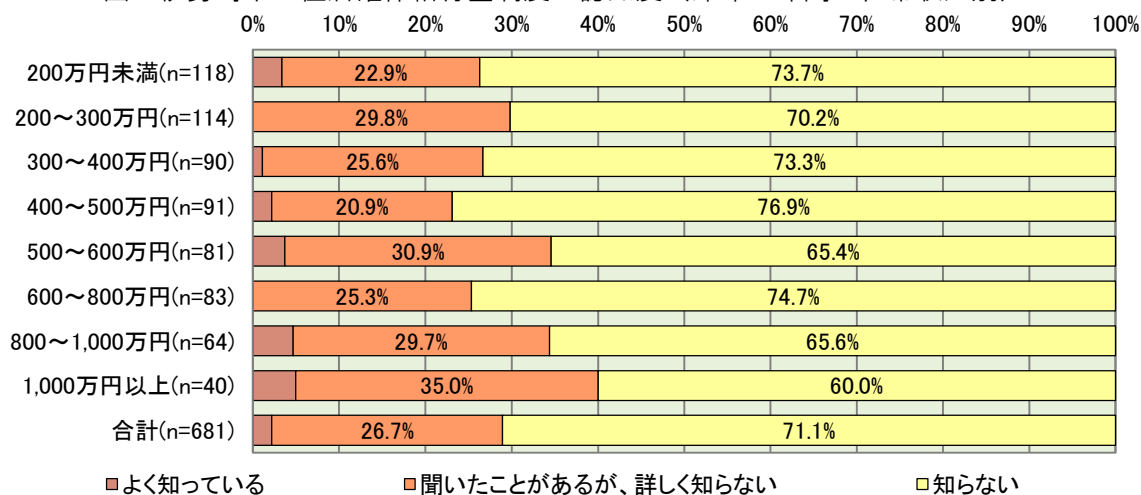


3.7. セーフティネット（生活困窮者支援の認知度）

3.7.1. 低所得者の認知度（伊勢崎市の住居確保給付金制度）

伊勢崎市の住居確保補助金制度の認知度について年収別に見ると、どの年収区分の回答者も約6割～約8割が「知らない」と回答している。「よく知っている」と「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」の合計割合は、最も年収が低い200万円未満でも約26%である。

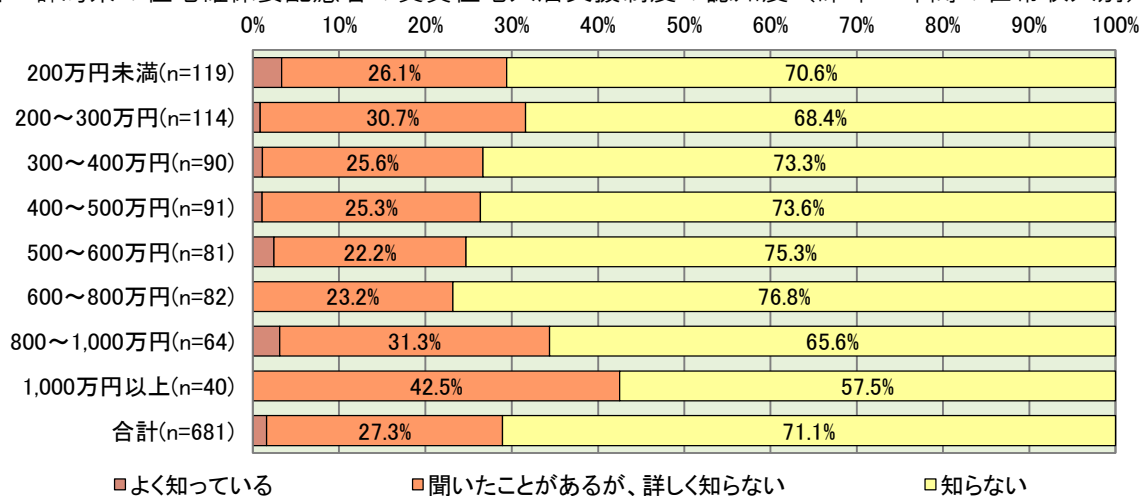
図 伊勢崎市の住居確保給付金制度の認知度（昨年1年間の世帯収入別）



3.7.2. 低所得者の認知度（群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度）

同様に群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度の認知度について年収別に見ると、どの年収区分の回答者も約6割～約8割が「知らない」と回答している。「よく知っている」と「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」の合計割合は、最も年収が低い200万円未満でも約29%である。

図 群馬県の住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居支援制度の認知度（昨年1年間の世帯収入別）

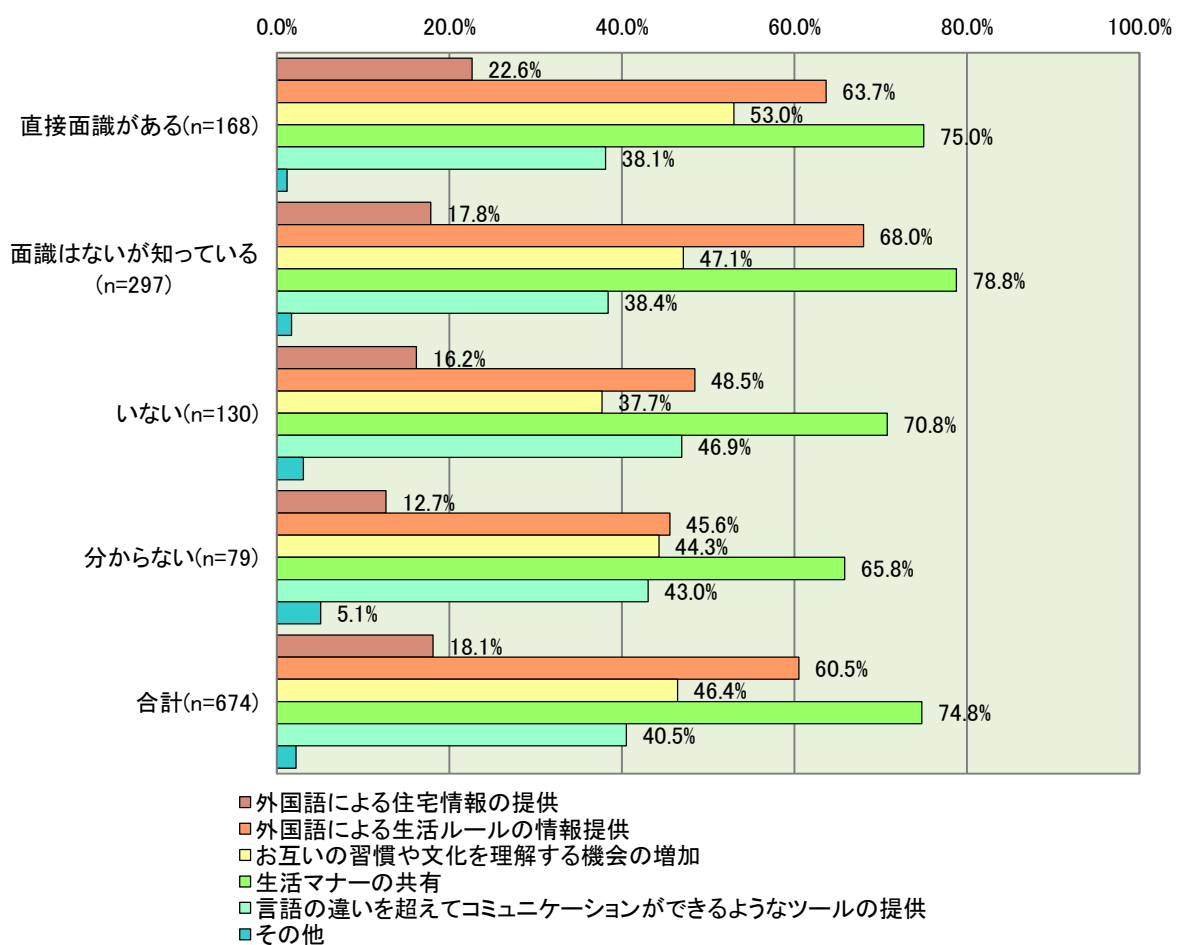


3.8. 外国人住民

日本人住民と外国人住民が同じ市内で快適に生活する上で不足している住生活の支援について、外国人住民との面識の度合い別に見ると、直接面識があるかどうかにかかわらず、「生活マナーの共有」を挙げる人が最も多く、約8割～約6割となっている。次いで「外国語による生活ルールの情報提供」が多く、約7割～約5割である。面識の有無にかかわらず、生活マナーに関する支援の不足を挙げる人が多いと言える。

一方で、「お互いの生活習慣や文化を理解する機会の増加」の選択肢に着目すると、直接面識がある人はそれ以外の人に比べて約53%とやや割合が高い。

図 日本人住民と外国人住民が快適に生活するために不足している住生活支援
(外国人住民との面識別)



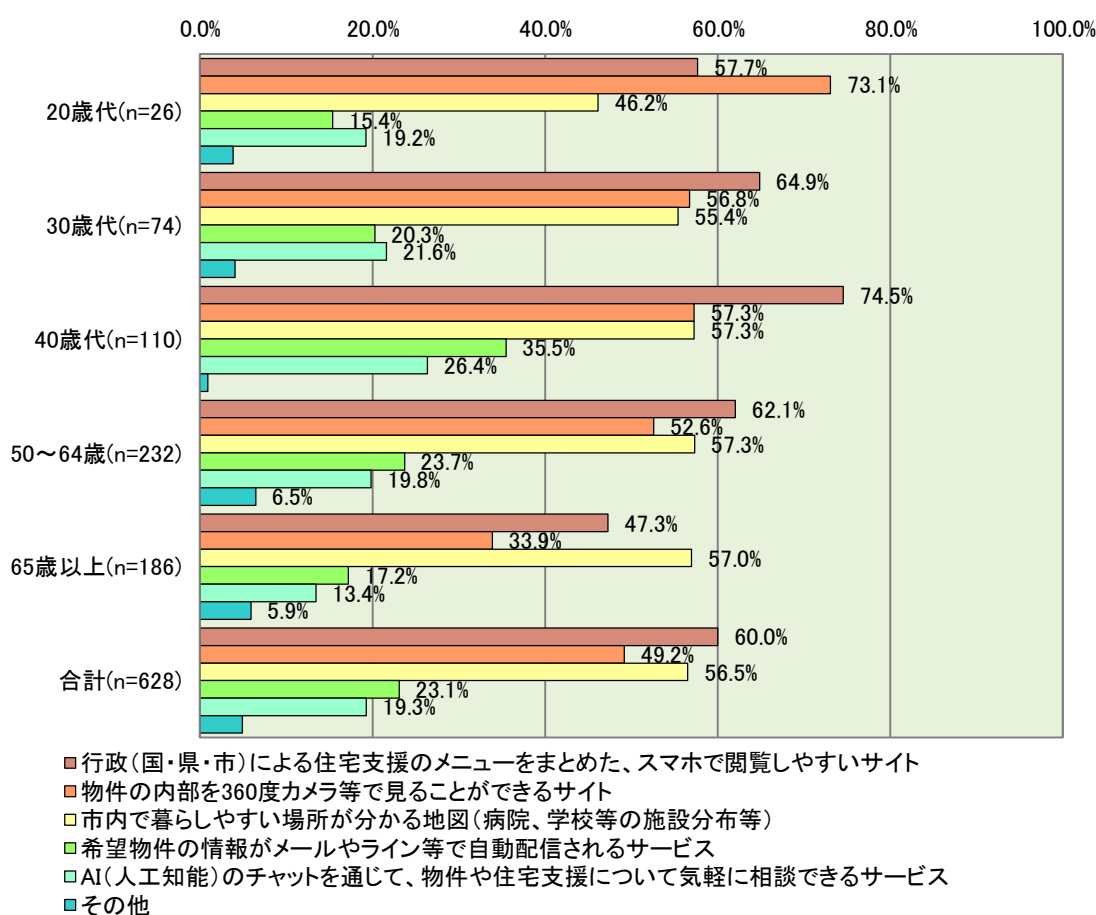
3.9. ニューノーマル、DX

3.9.1. 市のHPにあると良い情報

市のHPにあると良い情報について年齢別に見ると、20歳代は「物件の内部を360度カメラ等で見ることができるサイト」を挙げる人が約73%と最も多い。30歳代～64歳は「行政による住宅支援のメニューをまとめたサイト」を挙げる人が約6割～約7割と多い。65歳以上は「市内で暮らしやすい場所が分かる地図」を挙げる人が約57%と最も多い。一方でAIによる相談サービスを挙げる人の割合はどの年齢層でも低い。

スマホで閲覧しやすい住宅支援メニューや、暮らしやすい場所の地図など、既存の情報に分かりやすく、かつ手軽にアクセスできることへの要望が高いことが分かる。

図 市のHPにあると良い情報（年齢別）



3.9.2. 在宅勤務等に適した設備・間取り

在宅勤務等に適した設備・間取りに関する満足度を現在の住宅の広さ別に見ると、狭い住宅の居住者ほど「満足」と「まあ満足」の割合が低い（25㎡未満：約36%）。一方で、同項目の将来の重要度を住宅の広さ別に見ると、住宅の広さと重要度の高さに関連性は見られず、「高い」と「まあ高い」の合計は150㎡以上の居住者も25㎡未満の居住者も約6割程度であった。

図 在宅勤務等に適した設備・間取りに関する満足度（現在の住宅の広さ別）

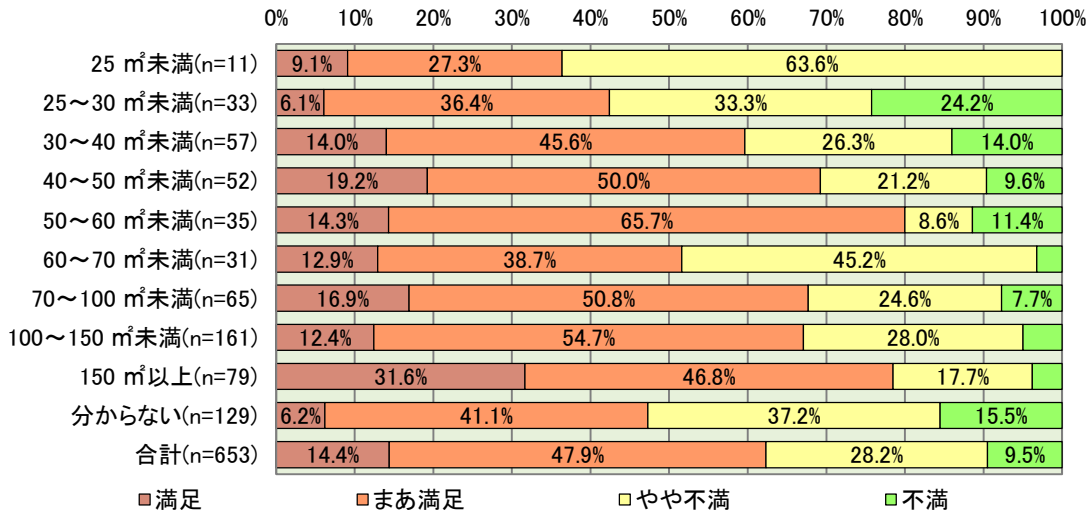
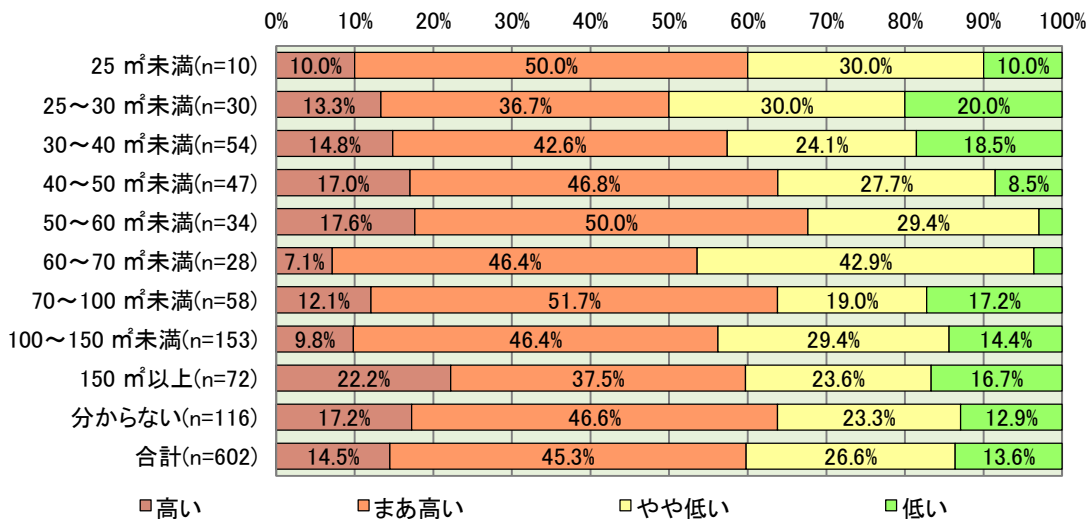


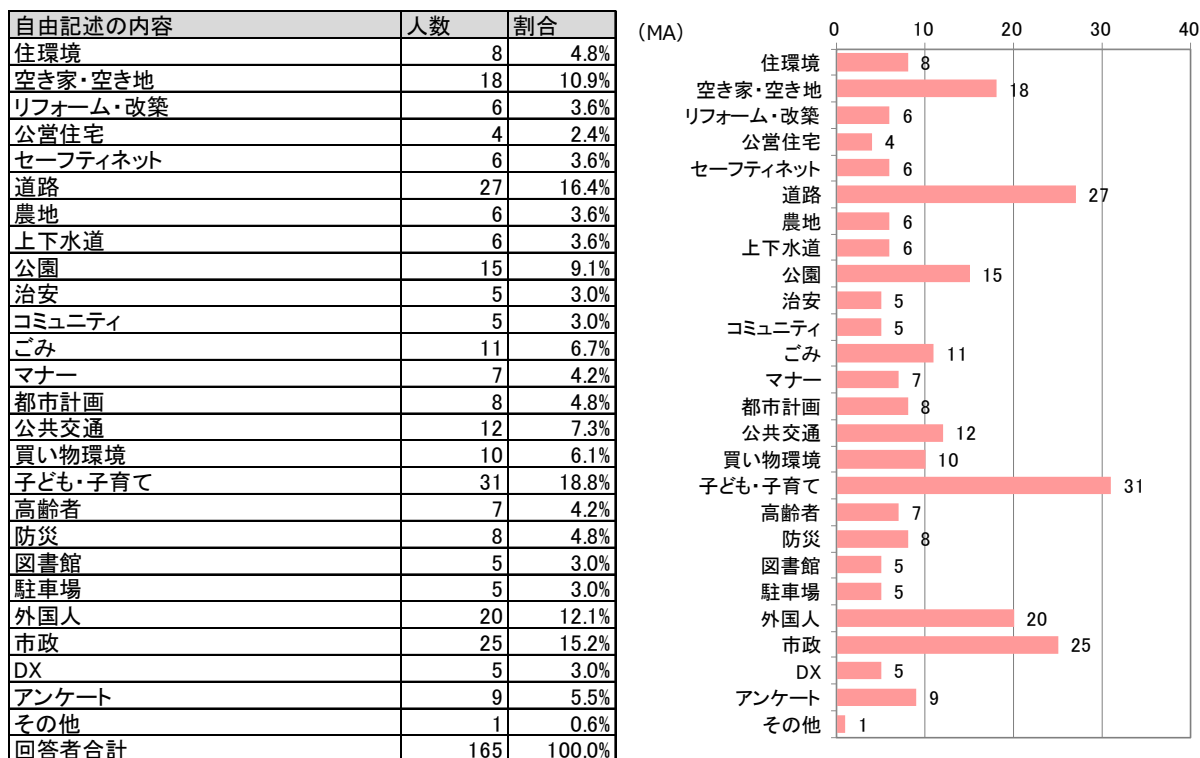
図 在宅勤務等に適した設備・間取りに関する重要度（現在の住宅の広さ別）



4. 自由回答（問 25）一覧

自由記述の内容を分類すると、主に住宅周辺の「道路」や、自身の「子ども・子育て」、また市政全般に関する意見が多く寄せられた。

図表 自由記述の内容



No	その他、ご意見・ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。
1	現在、境百々区に住んでいますが、早く区画整理をしていただき住みやすい町にして欲しい。
2	今は、自分の事出来ているので良いのですが先々は不安です。同町内に子供達が独立しているので、なんとなく安心している部分はあります。字が下手ですみません
3	伊勢崎市に住んでみて、道がどこも混んでいて不便を感じる。道路を広くするなどできないだろうか??(太田は道が広いあまり混まないイメージがある)4車線が多い。↑
4	伊勢崎市にいまそういう相談できるところがあるか、わからないがどこに相談していいかわからないときになんでも相談というかはなしをきいてもらえるのかなやみをきいてくれるところがあるといいと思います。電話でそういうところがあるけれど、(よりそいホットラインとか)いつ電話してもつながらなくてこまっています。あと自分は家族がいないし、だれも家にたずねてこないで自分になにかあったときとかもとても不安です。近所の人はくちもきかないようなかんじですので、ほんとうにこどくかんがあります。自分みたいな人間にはとてもいきるのがたいへんというかしんどいです。こういうきかいなのでかきました。
5	大雨などによる洪水での災害などは防ぐことの準備をしておくことで被害者となる市民がでない様にして頂きたいです。
6	バスの便数を増やしてほしい。高れい者の運転をひかえてほしい。
7	本町通りの商店が減少しシャッター街から大人の歓楽街へと変貌する姿に愁いを感じる。一方効外の歩道など雑草が伸び放題で見苦しいアンケートにもある空き家問題 リフォームなり解体でも予算の捻出がネックと思われる 市で方法を考えて欲しいと思います
8	住環境の一つとしてゴミ出しルールの簡素化をお願いします。私が居住する区で、市の収集カレンダーの資源ゴミ収集日に資源ゴミをゴミステーションに出す人がいます。その区ではこれが「ルール違反」になってしまうのです。区が決めた日にゴミステーションでない場所に出さ

	なければなりません、それを知ることが出来ない人がいます。どうか、誰もが知る事の出来る簡素なルールを確立して下さい。よろしくお願い致します。
9	市民によりそった政策を積極的にしてほしい 市は広報とは別に1年間の予算をどのようにつかっているのかを細かく書いて知らせてほしいです。
10	せまい道路のかくふく。特に学校周辺。
11	ありません。
12	子どもを遊ばせる場所、イベントが少ない。コロナ禍であり仕方がないことも多いと思うが、市のイベント等もっと充実させてほしい。室内の遊び場がもっとほしい。
13	なし
14	道がせまい、歩道がないので歩くのがこわい
15	相続した田畑の管理が大変、自分の子たちには、引きつぎたくない。なんとかならないかと頭がいたい!!
16	雨水測横におでいがたまり水が流れにくくにおいがする 自治体がそうじすると言っていたのに一度もそうじした事が無い。
17	特にないです。※住宅に関係ありませんが、市会議さんが多いと思います。あと、2~3人へらしては?
18	空屋解体後の税金の見直しやリフォーム補助金の増額など検討していただきたい。
19	外国籍の人々が増え、治安が悪くなっているように感じる。日本のマナーを教示するコミュニティーが不足している様に思う。
20	産廃・解体業社などのゴミ管理と指導願
21	区費が高すぎる。
22	市職員の方々色々お考え頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。お疲れさまでした。
23	伊勢市は住みにくい。
24	子育ての環境の事をもっと考えてほしい。お金面等も含む
25	なし
26	特にありません。
27	道路や歩道、公園の植栽の手入れをしてほしい。雑草が生い茂る様は荒廃した印象を受ける。治安にも影響してくるのではないのでしょうか?
28	伊勢崎市内の犯罪が増加しているのが心配。20万人程度の人口で、1.5万人の外国人が居住しているのを是認するのであれば行政もきめ細かな対策や施策が必要なのではないのでしょうか。
29	境駅北公園の木の高さを半分位に伐採してほしい理由。1、電波障害 雨や風が吹いている時テレビの画像が乱れる。2、鳥の騒音・鳥のふん被害 鳥が木に巣を作る時期が特にひどい。3、防犯 子供達の遊んでいる姿が見えにくい。よろしくお願い致します。
30	納税額が高い全において先々不安を感じている
31	ゴミ集積所の整備をお願いします。田中島一本木公園の集積所には、毎回カラスがゴミを散らかしており、不衛生です。ケージの設置を希望します。
32	高齢者が道の中央にいたり、とび出してくる。←指導等 子育て支援と高齢者支援それぞれに力を入れて下さい。
33	最近特に、広報いせさきやひまわり選出等外国人あげの記事が多いと感じる。共存していくのは大切だが特別にもてはやしたてるのはいかがなものかと感じる。困っているのは外国人ばかりではないし頑張っているのも外国人ばかりではない。まずは、日本人の市民を大切にしていきたい。役所での手続き関係に行くと、外国人優遇を感じてしまうことがあるのが正直なところです。
34	公共交通機関の充実
35	・足利伊勢崎線の歩道に危なさを感じる。・公園の特徴や駐車場の有無を示した地図や一覧、(小さい公園も含めて)子育て支援ノートブックに追加してほしい・広報で紹介されている子育て世帯が入れる住宅のリフォームを検討してください(古くて入りたいと思いません)・広報に空き家バンク、情報をのせてください(賃貸も)
36	特にありません。
37	空地の雑草化を防止してください。我家の前に空地(所有者が遠方)がありますが、管理されないまま、毎年草ぼうぼうになっています。毎年、市へは地主に連絡し、草刈り等の処理をする

	ようお願ひしていますが、何ら手を打ってもらえません。住宅地の中です。空家対策も必要ですが、空地対策にも力を入れてもらいたいです。
38	公営住宅を作る時は特にとなりや上下階の音が聞こえないような作りしてほしい。
39	高齢になってくると、車の運転も危険になってきます。買い物や銀行に行く等の行動も少しずつになります。すべての人がスマホを使いこなせるわけではないと思います。各通信会社でも教室等をやっていますがなかなか予約の取り方もよくわかりません。行政でも災害時の情報などはメール等でおこなっています。行政でもスマホでそういった情報を取得出来たり、ネットスーパーの利用のしかた等の講習をしていただけたらと思います。
40	リフォーム補助金は所得制限をなくして下さい。所得の多い人はその分住民税を多く払っているのに恩恵を受けられないのはおかしい。また所得が条件内に入っている人が何年か経てば再度補助金を受けることが出来るのもおかしい。不平等だと思います。
41	近隣住民ではないが、とある場所でのゴミの捨て方など外国籍住民のマナーについては困ることがある。理解してもらうのは、ひと苦労だと思うし、“日本人” “外国人” と区別してしまうのも、いかがなものか?と思う。“外国”にもそれぞれの国、習慣、アイデンティティがあり、根本から理解しないと多文化共生は難しい。お互いに歩み寄り、安心安全な地域(住環境)になることを望みます。
42	・小さな公園は沢山あるが市民の森のような公園は少なく利用者も多いので市民の森を更に大きく広い公園にしてほしい。・外国人と共生できる街作りに力を入れて国際人の育成に力を入れてほしい。・個性がない市なので特色のある街作りを望む!!
43	相談をどこにすればいいのかわからないことが多い。もっとわかりやすく、親切に説明してほしい。ホームページでもわかりやすくしてほしい。おひとり様の女性が増えていくのもっと支援を増やしてほしい。希望はシルバー人材の利用は女性のひとりぐらしは50代から500円にしてほしいです。
44	私の住む町内では公園がない。また、生活道路の整備もあまりされていない。
45	・車に乗れなくなった時の交通機関の不便さに不安あり。・連取地区に住んでいるが、エリアが広すぎて、公民館も遠いし、笠松のところの会館?はもっと遠く、地区が1つの団体という気持ちをもてず地域の活動に参加せずに過ごしてきた。もう少し狭いエリアで活動できたら良かった。・ゴミ捨て場所も遠く、車で捨てに行く、これは何とかしてほしいです。他県には、家のすぐ前の大きめの公道脇に各戸が出せるところもあるのに、遅れていると考えます。
46	道路が冠水して、ひどい時はトイレが流せなくて困る!!公園でゲートボールしてる人の車が路駐してて毎回通りづらい。(八千島公園)子供がコロナになった時、かかりつけの病院はPCRやってなくて、どこもやってなくてたらい回しになった、子供が高熱でくるしんでる時、コロナ疑いの時、どうしたらいいかわかりづらい!!マニュアルをちゃんと作ってほしい、ラインのコロナ、デジタル窓口は使いやすい!!
47	伊勢崎市は公園が多くとても良いのですが、もう少し整美に力を入れてもらえればもっと子育てしやすいと思います。いざ遊ぼうと思っても草ぼうぼうだったり、トイレがすごく汚いか使用禁止、壊れた遊具は使用禁止のままいつまでも置いてあるのではせっかくの公園がもったいないと思うのです。特にトイレは、保つのが難しければ、衛生上、防犯上も、いっそ撤去してほしいです。住環境のアンケートの内容とは離れてしまったかもしれませんが、常々思っていたことですので、この機会に書かせていただきました。
48	自分で車を運転し(でき)なくても生活できるようなシステムづくりは大変むづかしい。あおぞらバスの運行はよく頑張っていると思うが利用状況はどうなっているのだろうか?
49	なし
50	市営住宅で、騒音、振動などあった時他の住きよに移動出来る様になってほしい。
51	公園や街路樹が多いが手入れが行き届いていない。管理出来ないのであれば、別の用途を公園は考え、街路樹はあまり落ち葉の落ちない木に植え替えるべき。年間契約で業者が決まっていると思うがきちんと作業しているか点検し、検証した上で、公共工事に入る業者の選定をすべきだ。
52	・空き家の実際の活用例の発信・地域活性化例の紹介(空き家利用)・空き家を使って、防災対策(家具固定の仕方、ガラス飛散防止フィルムなど)、防災講話、防災啓発館のようなもの。
53	今はまだ仕事をしており社会との接点があるが定年になって仕事を終えた後社会との交流の場がどれだけあるか、孤独になってしまうのではないかと(1人住いな為)不安です。

54	お年寄り、子供、動物にやさしい街づくりを希望します。
55	下水道の整備を早く進めてほしい。
56	・公共交通機関の充実を増す・空き家を更地にした時の固定資産税の激減と老朽化した空き家の撤去
57	ないです
58	旧中心市街地(駅前)で整備が行なわれているが中央土地区画整理の失敗は、本町通りに、店舗住宅を敷地一杯に造って、自らの店舗前に、客用駐車スペースさえ作らず、「駐車場は、市当局が用意すべき」と云う、独断的な、状況で、客は郊外店へ。駅周辺に「人が住む」■を重点に対策して欲しい。市街地の空地を集約して、高層住宅を整備すれば、街中に人が戻って、賑わいも戻る。
59	おそらく日本人所有と思われるアパート(ほとんど外国人が住んでいる)の下水がよく、つまり、汚水が、私たちや、近所の住民の敷地まで、流れてくる。何回も直してくれるよう伝えてもらっているが少しだけ直ってはまたしばらくすると、汚水が流出している。くさいにおいがしてたり、不潔です!完全に直してもらうことは、できないものでしょうか!!
60	始業式や終業式の日などの下校時間が早すぎる。前橋市などみたいに給食を食べて午後下校にしてほしい。コロナは、心配だが、子供たちの行事をすべてもとどおりに戻してほしい。旅行、校外学習、職場体験、運動会など
61	香林町2丁目地区県道293号線の上り車線に歩道がないのは大変におかしい 赤堀東小学校の登下校時に児童が道路横断をしなくてはならない 交通事故予防のため下り車線同様に歩道設置してほしい
62	ファーストフード店や、トイプラネットのような、親子で行ける店が、欲しい。
63	特になし
64	伊勢崎市に住んでいる60代の男性です、高齢化の進む中現在85才の両親をかかえております。老齢保険の手続き等市役所にて実施しますが代理だと非常に時間を要します。特に家の売買については実行出来るのか?空き家が増加しているのもやっかいな手続きが有るからではないでしょうか?検討を宜くお願いいたします。
65	自分に関係ない質問が多すぎる。
66	現在住宅環境は良いのですが排水の方が少しの雨ぐらゐの場合は良好ですが、一時のひどい多量の雨、(線状降水帯などがかかる時)は、下水道管が古くて細い(筒中)ため浄化槽の中に逆流してしほうので大変こまっています。住宅の少ない地域では市の予算も大変でしょうが、目のみえない所をくみ込れて頂ければ幸いに思います。
67	他市のような生活保護や支援が伊勢崎市はほとんど無いように感じる。市が何をやっているか見えないし知らない。市役所の所員は何をしているのか?毎日定時で帰れて給料も安定していていいですね!とサラリーマン零細企業勤めからの愚痴でした。
68	住んでいない住宅、住んでいないが郊外に新築し、時折様子見に来るといった家が周囲に多くある。景観以前の問題として、壁が落ちそう、屋根がわらが落ちそうといった安全面、そういった家の植木や雑草が住んでいる家の敷地に入り迷惑しているといった話を町内より多く聞く。隣人であったりで言い出せないのが現状。行政指導、広報活動を多いにやるべきと思う。お願いします。
69	私は、境町に居住しています。以前より市内中心部に比較して、開発が少なく、不便差があります。ここ20年市よりの住環境の開発もなく変化ありません。若い人々も、定着する気がないと感じます。
70	伊勢崎も、みどり市も、桐生市もすべて、子供の夏休み、等を同じくしてほしいです。群馬県は、自動車に乗れる人は(べんり)かもしれませんが月1回、週1回バス等を利用した人に、スタンプで商品券等さしあげるとか、すれば、もう少し、乗用車をのらず、バス等利用するのかと、感じました。どうでしょ?
71	住宅がどんどん増えていて、農地が物流倉庫になったり、道路になったり、公園などは増えている訳では無い状況は住みづらいです。何とか自然を残して欲しいです。住宅だけの街になってしまって、車の音が建て物ばかりだと反響して前よりよく聞こえます。何か対策お願いします。
72	・ゴミ集積所において、カラスによる被害(散乱)が多く、「ネット」だけの使用では、効果が少ない。(ゴミを出す人のモラルもありますが!)他の自治体の取組み等も参考にしてください。

73	食料自給率の低さ(≒30%)対策。調整区域は維持しつつ、人口対策(増)案として、現在の空家の有効活用して、食料と人口問題を考える。安易に耕作地を宅地化させない。
74	建物もだけど、貸し畑とかがもっと気軽に近くにあったらいいと思う。市と地主とかでおりあいをつけて、カンバンを設置。市が窓口になる。それと、庭木が大きくなりすぎ、困っている家のため、市から安値で職員と造園屋の派遣。庭の手入れができなくなっている古い家はとても恐く感じる。よろしくをお願いします。
75	集合住宅に居住しています。外国人とのトラブルが多く、管理会社に伝えても改められずとても困っています。外国語でのお知らせなどが必要です。ゴミ出しは市で何とかありますよね？外国で仕事をするコトはとても大変ですし、努力はすばらしいです。ですが、ルールやマナーが守れないなら、母国に帰国してほしいです。市だけでなく、就労先の企業単位でも、外国人に対する「日本の文化」「マナー」などを、ちゃんとお知らせして頂きたいです。
76	近くにようほうじょ?(ハチ)があるのか駐車場にとめてある車に毎日ものすごいフンがこびりつき、本当伊勢崎に住んで毎日ものすごいストレス、市役所に何回聞いても助けてくれず、家の裏のゴミ置き場は毎日年寄りがよう日関係なくゴミ出しするからそれも市役所に言っても何もしてもらえず。家前で毎日ゴミを焼かす年寄りもいて、いっこくも早く市外に引っこしたいです。
77	・24時間営業の大型店舗が近所に来るため、治安悪化の不安がある。市としての対応や治安維持のための方策があるでしょうか?市民に提示して頂きたい。・仮換地のため住所変更の手続きを数年以上前に行ったが、一向に進まない。宅配も住所から自宅が分からず TEL で説明する事が度々あり不満。早急に対応頂きたいです。
78	・町内に防災スピーカーがない・いわゆるオーバーステイが多数いる。無免許で自動車運転してる。どう見ても資格外労働をしてる者が多勢いる。規制も取締りもゆるいので伊勢崎は、60カ国ぐらいの外国人が集まった。「共生」など、とんでもない市内に「ヤード」がいっぱい、異常に農機具、エアコンが多いどこで盗んだのか?・コロナのことも全く情報がない。なぜ?号外もない、変なの
79	市内の小中学校に子供が通学していますが外国の親御さんの日常生活感が日本人と違いとまどうことが多々あります。子供同志のもめ事等で学校から注意があっても、理解できないのか、少しも態度等が改めてもらえない国民性の違いで仕方ないのかと。
80	特に、伊勢崎市内には、諸外国人数が多い様に思います。偏見及び差別的思考は良くないとももちろん良く無い事とは思いますが今迄接した印象としては出身国によって(もちろん人それぞれにより、国別では無いかも知れませんが)マナー上好印象が持てない事も有りましたので市内在住基準、条件を設けてもらいたい。もしくは、厳格化していただきたい。
81	子育て世帯にもっと支援をして欲しい。1才になるまでにオムツやおしり拭きなどが買える金券などがもらえるとうれしい。また、出産時にお祝いとしてチャイルドシートなどの実用性のあるプレゼントが欲しい。出生記念証が伊勢崎市から頂けるといことですが、実用性がないので特に必要ないと思います。ぜひご検討よろしくお願ひいたします。
82	伊セ崎市で生まれ、育った人間で、伊セ崎市に対する思いは年と共に、大きくなっていく自分が居る事に気付かされています。しかし、伊セ崎市は近隣の高崎、前橋、太田と比べて市の方針、街造りへの思い。街並みそのもの、その他諸々全てを見ても、劣っています。一番は市の行政のあり方に問題有りと思っています。こんな事書いても意味ないのでしょうかネ。
83	夜間において、移動式オービスの取締を行うべき。県道、市道にて、大型トラック(深夜)の速度が非常に速い。その為か、家が揺れる。
84	伊勢崎市は、市民に対してなんの力にもなってくれない!!生活が苦しいのに給付金等、子育て世帯に支援をしてほしい!!国まかせではなく市独自の支援ができるはず…コロナが始まってから何一つ助けてくれない!他の市は、給付金や水道代無料などやっているのに…市民を助けて下さい!!
85	外国人は一言で嫌いだ特にフィリピン女性、最低 日本人をしっかり守ってほしい 外国人に支援するなら日本人第一にして下さい
86	高レイ者にとって、車に乗れなくなることはとても不安です。バスなど通っていないととても不便です。これからの子供達、孫達にとって、良い環境ですと、住みたいと思う子達も増えると願ひます。

87	相手がいれば、子連れでも、再縁できる、ひと。子どもがいても、パートナーと浴場を共にする(妻・夫)と性交為する事。混合浴場で!明日にでも、一緒にくらすこと。R4・9・26 現在パレスミキ 203 号
88	日本全体で子育てがしにくい環境が見受けられるので、伊勢崎市としても力を上げて取り組んでほしいです。地域の活性化にもつながると思います。明石市のような自治体が増えれば日本も少しは変わっていくのではないかとあまり信頼をおけない今の政府をみて思いました。
89	柴町周辺は、大学生の寮等も多数あり、反面高齢化も進んでいるのに買い物が不便です。
90	子供を育てやすい市になることを期待しています。
91	家の近くは下蓮町といっていなかのかそ地域で交通の便がとても悪いです。青空バスを1時間に一本位にしてもらえればうれしいです。それと近くにスーパーがないので日用品を買うのに不便です。
92	市のHPを見てとか、ありますがない人もいます。出来ない人もいます。そういうものが多くこまる。
93	アンケートに答えてもポイント等などもらえないし何か改善策はあるのでしょうか?期待しております
94	他県から引っ越してきました。群馬県は車社会と聞いていましたが、まともな公園に行くにも車前提な距離に困り果てています。今時の小学生は放課後に子供達だけで公園に集まったりしないのでしょうか?外で遊ぶ機会が少なく不安です。病院等も遠く、バスもわかりづらく本数が少ないのが不満です。車さえあればいい所ですけどね。高齢化で免許返納する方も増えてくると思うので公共交通機関を増やして欲しいです。
95	藤岡市のように医療費無料化を高校まで拡大してほしい。給食費の無料化についても検討してほしい。
96	冬季、隣の畑から砂、収穫後の大根の葉など大量に風に吹かれ飛んできて敷地内にたまって毎年困ってます 収穫後の残置物のルール、使用しない畑に何か植えておくなど対応してもらいたい(赤堀)
97	特になし
98	何かの役にたちますか?太田市役所のような福祉援助をして下さい。市長の顔がみえない!前より更に悪い市になっていると思いますが。市を良くして行く気があるのでしょうか?
99	明石市のような子育て支援の拡充を希望致します。JR線と東武線(主に伊勢崎駅)の接続が悪く非常に不便です。行政からダイヤ改正について働きかけて頂けるとありがたいです。
100	アンケートが多すぎ もっと具体的に
101	私は業として空き家への県外からの移住を進めています。前橋や桐生・みどり市は行政が旗を振って推進していますが、伊勢崎は積極的な施策がなく空き家解消が進みません。つづして駐車場にするのではなく、人を流入させるための支援、空き家情報のデータベース化、空き家(移住)コンシェルジュのような外部協力者の設置を検討してください。東京で定期開催される移住フォーラムに、伊勢崎は絡まないのでしょうか。
102	空き家が放置されている物件の対策を考えるべき街中の空き店舗を活用を考えるべき
103	ここ2~3年コロナ禍と言う事もあり地域の催し等がほぼ無しに近いです。しかし区費の徴収は従来通りです。少し疑問に思います。
104	外国人の方が近くにいますが、お互い仲よくさせていただいています
105	ナシ
106	市民税下げてくれ
107	持ち家に住んでいても生活が困窮している世帯があることをわかってほしいです。子育て世帯だけが生活が大変なわけではありません。子育て世帯は支援が充実していますが、小さい子供がいなくても生活が苦しい場合があります。是非そういう人間も支援してほしいです。
108	子供の医療費を高校卒業まで無料にしてもらいたいです。
109	市道の除草に関して農道(生活道路でもある)の除草に関して、再三市境支所へ依頼した結果、除草が実施されるが、実施時期は、草が生い茂り、しばらくしてからである。担当に道路の管理基準を確認すると道路法第42条及び、道路施行令によるとのことであった。是非とも回答した、法及び政令通り、実施してもらいたいものである。
110	特にありません。

111	子育て世代です。防災サイレン(帰りの時間を知らせるチャイム)を希望します。公園で遊んでも時計がなく帰ってこない。ケータイを持たせないとなくなるとなる。チャイムが鳴ったら帰るとわかりやすいしきまりを守るきっかけにもなる。なぜないのか・・・自分はチャイムで育った。
112	回答に不備な点がありましたら、ご了承下さい。
113	家周辺での道路の白線(停止線など)消えかかっていたり危険箇所が沢山あります。街路灯が少なすぎて夜道も暗い
114	特にないです
115	道路整備と修理自宅前の道路に段差があり車両がスピードを出して走行する為ブロック壁に割れが発生した。
116	「伊勢崎市住計画～」の概要版をスマホで見させて頂きました。たいへんきれいごとの目標のみが羅列されており、この5年でどのような実行がされたのかが気にかかるところです。住居については、個人の判断で大きく変わってしまいいろんな制度も利用も個人の判断によるところが大きいし、個人情報面からも行政がかかわりにくいと思います。まずは行政がかかわれるところ例えば、公営住宅のおしゃれな提案(店舗と住宅が一つになったとか)、公園の整備伊勢崎市の住みやすさの一つになると思います。「地域主体」のリーダー不足の伊勢崎市をととき感じます。地域が主体になって継続的な交流があれば、きっと、もっと安心して住みやすくなるのでしょうか・・・やはりその手段がわかりません。近年の災害の大きさを考えると過去を参考にしての災害対応では対応しきれないと思います。「避難は個人の判断で、早めの避難を」という主旨を呼びかけ、目にしておければと思います。伊勢崎市の対応を期待し、災害の少ない地域であることを祈るしかありません。またこれは個人的なお願いですが、高齢化社会をむかえ健康寿命が伸びるような高齢者対応もひそかにお願い致します。若い働く世代が定住する為の目をひく施策とともに今後5年のみなおしの施策にお願い致します。
117	何年か前から道路の横断歩道や停止線が消えている所が多くあぶない。早く対処してほしい。
118	街灯が少ない、道が暗く、自動車のライトだより、緑石の反射板だけでは不十分。地域の特性上、車主体なのは仕方ないが歩道の整備が足りないと思う。
119	自治組織への参加がない、区との関わりが、なくても良いと思っている人が多い不動産屋さんが、区費等の納入を不必要な、家賃設定にしており、現在の形態になってからの入居者が、ほとんど、納入していない、区との関わりについて説明されていないので、奉仕作業(道路清掃など)には、参加者がいない。平気で、作業中の所を、車等で、通りすぎていく現状。不動産屋への指導等を、市よりしては頂けないものか、任意団体だからダメか?
120	夜の本町の安全を考えて、いただきたいです。電波障害・泥酔者の大声・住居車に当て逃げ・ゲロ立ちションカラオケなどの騒音・争い事など色々。とても子供や、お年寄りが住める町では、ありません。改善される事は無いと思っています暇があれば調査にでも来て下さい。吉家店主。臂さん江。
121	あおぞらバスの有料化に対して不満。元マ無料だった為。移住した為残念。可能なら戻し市民会員に優しい街づくりを行って欲しいもの。誰もが住みたくなる様な、街を目指してもらいたい。
122	今の所ないが、相談する日があったら相談したい
123	子どもが遊べる公園などは多いが遊具が少なく小さい子ども達でも遊べるものを増やしてほしい。また支援センターでの活動も月に1.2回ではなく好きな時に行ける環境にしてくれるとうれしいです。以前住んでいた県では子育て支援が充実していたため、比較するとどうしても物足りなさを感じてしまいます。
124	外国人の人は交通ルールをまもらない。
125	伊勢崎市の世帯数が86200世帯の中で2000世帯とアンケートで何が解るのか?又市の公民館プール図書館との回りに草が伸びほうだいになっているのが見えるどうかして下さい。
126	特に大きな町内の民生委員の目の届かない孤独死が想定される家庭の自己登録とサポートについての検討が必要と思います。
127	問14の今後の重要度は、ちょっと考える、ある、なしの2枠で問5・地域の北、南は、どの辺かわからない
128	自宅の回りが整備されていない為、雑草が自宅に入り困まっている。その都度、自費で除草剤を購入し、除草しているしまつ 側道は、自分の土地でなく、市が管理する管轄なのでアスフ

	<p>アルトにするとか、考えてもらいたい問題!!境市は、ダニが多いと聞くがこれも全て整備されていない為草が荒れほうだいな事が重大な原因と思ってる</p>
129	<p>・都市ガス、下水道の範囲を広く・図書館の利用を 21:00 迄に・図書館以外でも自習室の開放・駅周辺の活性化・駅から(伊勢崎駅)から市役所が遠すぎる。・リフォームに関する補助の範囲をもっと広く</p>
130	<p>道路が汚い、トラクターで畑をたがやしたり、雑草を刈って道にちらかす。側溝の上まで畑にしている、道が狭いのさらにせまくなっている側溝が泥で詰まっている。通学路なので気をつけてほしい。</p>
131	<p>雨で水道から出てくる水が茶色の時があった。夜間だったため、どこに確認したらよいのかまわりはどうなっているか等の情報が全くなかったのが不安だった。しかたなく茶色の水でシャワーをしたり洗濯をした。お年寄りはもっと不安だったと思うので、このような場合の不安解消となる手立てを考えて頂きたい。</p>
132	<p>これから重要な内容です遅くなりましたがよろしくお願い致します。集計頑張ってください</p>
133	<p>何年か前から、古い住宅を壊し、2軒→3軒、1軒→2軒となり、新しい人が増えている。ゴミは集積所に出すのに、区費を払わない人がいるのは誰でも良いということではない。公園清そうなども出ない。本町通りを何とかしてほしい!!本町四町目の信号から、東の信号まで商店がほとんどない。銀行や、駐車場だらけ。信号より西も、ひどい。昔の商店街が戻ってほしい。昔のアーケードも、歩く人がいない!今の伊勢崎は魅力を感じない!ベイシアがダメにしたのか!?街ごとデザインしてはどうか?今はブツ切れ(東京まででは無理だと思うが)東急、三菱、西武など</p> <p>伊勢崎は、文化的なことが遅れていると思う。例えば館林には、ステキな美術館があり、(高崎はもちろん)、お客さまも入っている。料金を払ってでも行きたい。太田の図書館はすごくオシャレで(文化会館も)若い人たちが行きたい場所になっている。お固いイメージもなく、写真をとりにくる人もいる。静かなのに、人が沢山。カフェや小さい美術館もいい。伊勢崎の図書館、行かない人が行こうと思わない人が、多くいる。本町に人を戻そう!例えば前橋は、JINSの田中仁のようにシャッター街をどうにかしようとする人がいる。伊勢崎は居ないか?宮子(?)に、ベイシアの西部モールが出来たら、常に渋滞していたが、今はぜんぜん。大きなスーパーやお店は、必ず流行りすたりがあると思う。(スマークもケヤキウォークもどこに行っても同じ店)これからは、昔ながらの個人のお店が増えることを望む。飲食店もどこの街に行っても、同じチェーンだらけ。伊勢崎ならではの増えてほしい。伊勢崎祭り、子ども会とおみこしが主流。20代くらいの子たちが参加したり、見に行こうとしない。わざわざ見に行く気にならない。本町はせっかく山車があるのに、人が居なく出せずに残念!!</p>
134	<p>一見無記名なのですが、「ID」が宛先とつながっているように感じたので、除去しました。 ※無効票の自由記述</p>
135	<p>境木島市営住宅に外国人女性と思われる18才前後とみられる人が、時間的に在宅を排除され暑い中、文化センター付近でうろつきを余儀なくされ、冬は付近のブロック塀で寒月を防ぐことを余儀なくされている。市の社会福祉課へ連絡すると当方の関与するところではないとの返答。警察へ連絡してくれとのこと。警察へ連絡すると詳細がつかめず、その女を見かけた時に連絡してくれとのこと。その女性を見かけたとき警察へ連絡したが何の返応もなし。その後もその女性が家をおい出され、道の沿いにうづくまっていたり、ブロックべいに沿ってたたづんでいるのを何度も見かけているが市も警察も全く動いた様子もないのでそのままになっている。その女性はアラブ系外国人女性かと思われ、見たところ、学校へも行っていないのはいないか、戸籍もないのではないかと、市の教育委員会へも連絡し、北中学校へも、不登校ではないかとかつて、(半年程前)連絡した経緯もある。住民の情報にもっと耳をかたむけてほしい。この件について何度も市役所へ連絡したが全く自ら関係ないとの姿勢である。この姿勢について、本件の個々のアンケートに回答する気にはなれない。全く、たてまえだけのアンケートである。住民の意見に真正面からの対応がまず求められるべきである。何としても本件女性を助けてやりたいのでこれだけは連絡させていただいた次第である。</p>
136	<p>伊勢崎市図書館の改修と内容の充実。ゆっくり閲覧する場所が無く建物が古く狭い。また蔵書が少なく古い。駐車場が狭い。 伊勢崎駅前インフォメーションセンターの活用。時間待ちをする学生が勉強できる様な場所を提供したらどうか。</p>

137	コロナ禍で会社が潰れて生活が本当に苦しいが、どうにもならない！ 役所と言う場所が外国人がどうのこうの以前に日本国民の為である事を伊勢崎市は忘れないで欲しい！
138	伊勢崎市はPayPayとか商品券とかのサービスが他市に比べて低い 特に境地区は合併されてからのサービス低下が目立つ
139	自然環境の保護をして欲しいです。具体的には、小さい規模の野鳥の森を沢山作って欲しいです。
140	PCで回答しましたが、アドレスの文字が詰まっています。読みやすい字体に変更を希望します。
141	現在居住している家は、築30年。いろいろな所が経年劣化しており、修理して対応しています。これからどんな修理が発生し、費用がどのくらい必要なか心配しています。このような不安に対応してくれる、公的な照会検索サイトがあると便利だと思いました。
142	外国人の騒音、音楽の高ボリューム視聴などは、私自身や知人などでよく聞く。特に夜間など、近隣住民は、我慢して黙っていると思う。 また、犬猫の飼い方にも、そのお国自体の慣習が出ていると感じる。 騒音は日本人ももちろん例外ではだないが、 公的期間の車などでの見回りパトロールや、助言、市役所での、その告知、聞き入れ対応、お知らせや案内資料で何気なく文章を一文入れての告知。市内や公的住宅や建物や転居時などに行うのはどうでしょうか。 本来、日本人は、外国人には、受け入れ対応は優しいものだと思う。だからこそ、当初からの、外国への印象がわるくならないような、大きなトラブルにならないような対策が必要ではないか、 また、外国人を問わず、日本人事業者が、車などを長時間、道路に、逆駐車や、はみ出し駐車が、多く、子供、児童など、通勤者など、困っている。と感じる。 また、これは日本人であるが、特に、本町での風俗店前では、長時間駐車や、歩道の乗り入れ駐車、交差点付近の無断駐車は、傾向が著しい。これは、一般市民は、 あまりにも、相談もし難いし、口に出しにくい状況なので、公的機関も、言われる前に、感じてパトロールし、安心な街をつかって欲しい。（市職員や住民の何気ないアイデアさえもいかしたのも良い。） 市各部からの看板や、警察の大きな標識の設置やと見回りがあれば、かなり、昔から、住んでいる人もこれから育てていく子供や、大切な伊勢崎への転入者安心するし、伊勢崎以外の方々の印象がよくなり、市民は市に感謝すると思う
143	小学校の育成会活動が実質上、強制参加となっており、会議に参加するために子供や幼児を夜に留守番させなければいけない。祭があれば休日はほとんど1日、自分の子供を放置して無償奉仕。古くから居る地元の発言力が強い人達に、色々な事を強いられる。まだ下に未就園児がいるので、育成会の入会や役員（これも子供1人につき1年は必ず強制）の事を考えると引越したい。自由参加の活動にしないと、逆に子育てし辛い。シングルマザーや祖父母が遠隔地の核家族世帯にはホントに負担。
144	隣地がジャングルのような状況であるにもかかわらず、全くきちんとしてしようとする姿勢が全くない。役所も関与して注意してほしい。
145	リフォーム補助金の交付手続きが、大変煩雑であり、市が交付を「したくない」ように思える。
146	無し
147	良くも悪くも近所付き合いが希薄。近所に誰が住んでるのか顔も知らない。
148	いろいろとアンケートを経験した中で、選択肢の項目が偏っていて、言葉尻悪くて申し訳ありませんが、誘導されているような印象を受けました。特定の目的を持った人・施策に対する設問が多かったと思います。住環境について何を得たかったのか？ 広義的な生活環境での話が多かったと感じられました。是非、市政全般として生活環境全般でのアンケートをすることが望ましいと思います。特に海外赴任経験者として、外国人の多いこの環境をいかにして行くのか？ は、重要だと思います。
149	特になし

150	<p>夜間に小児科を市内で受診できない時間帯があるのを解消してもらいたい。</p> <p>高崎市がコロナ渦で行ったような子育て世帯に商品券を配布するような子育て支援を増やして欲しい。</p> <p>明石市のように第2児以降の保育料無償化をお願いしたい。</p> <p>四つ葉学園中等部に給食を導入して欲しい。</p> <p>伊勢崎駅と国定駅の間の新駅を作って欲しい。</p>
151	<p>隣が持ち主がいる空き家ですが、雑草がひどく、樹木の枝や草のツルが我が家の敷地内に蔓延り、蜂、毛虫が洗濯物に着く被害がたまらなくストレスです。住んでいないなら手離して欲しい。持ち主はご近所なのでハッキリ言いにくいです。行政で対策していただけるのであればなんとかしていただきたい。</p>
152	<p>路側帯や横断歩道等の白線が消えかかっている箇所とかあるので整備し直してもらいたい。</p>
153	<p>ルールを守らない人がいるからだと思いますが、家の前のゴミステーションに勝手に防犯カメラを取り付けられ、恐ろしい毎日です。防犯カメラを付けたところでゴミ出しのマナー違反は改善しないし、迷惑なので困ってます。</p>
154	<p>自治体の権限、主体性を重んじる制度が少ない。また、権限を与えられたとしても、その自治体に実行力、責任力がなく、大きな変革は望めないが、このようなミクロの取り組みは大切と思います。</p>
155	<p>周辺に雨が降る度に冠水する道があるのに、補修する様子が一切無い事が不満です。隣接する市所有の土地の草刈りがなされない事が不満です。</p>
156	<p>境町に外国籍の方々が非常に多くなって来た。</p> <p>駅通り周辺の秩序を乱した駐車。</p> <p>また住宅地に於ける解体や廃品回収場を設けての騒音。図書館通りの歩行者専用路にも関わらず、車で走行する交通違反行動等もある。</p> <p>如何なものか。</p> <p>「境は治安が悪くなって来た」との会話を耳にする。一部の方たちによる行動が積み重なり、この様な事に繋がって来た。</p> <p>空家が増える昨今。</p> <p>外国籍の方が移り住み、不秩序な事柄が多くなると今後の地域環境に不安を感じる。</p> <p>定期的な環境指導や環境パトロール強化をお願いしたい。</p> <p>安心して歩ける。安心して過ごせる地域となる様に考えて頂きたいと思います。</p>
157	<p>土地を購入し、新居を構えたが、隣や近所が空き家で、草木が生い茂っていて、車に当たるし、虫も多い！空き家は固定資産税払わないんですか？払っているとしたら持ち主や家族に連絡取れるはず！迷惑だから、草木を切ったり、手入れするように行政から指導してほしい！面倒だから、燃やしたくなる気持ちになる！</p>
158	<p>特にありません。</p>
159	<p>通勤でプラザ通りを車で通りますが、ゲリラ豪雨など激しい雨が降った時に冠水するので対策を打って欲しい。</p>
160	<p>年号と西暦表記をお願いします。IDが分かりにくい。</p>
161	<p>同じアパート内に外国の方が住んでいるが、駐車場にゴミを放置していたり外から家の中の人を大声で呼んだりマナーが守られていません。</p> <p>また、近くの畑でニワトリを飼っており、夜中の2時頃から鳴くこともあり睡眠不足になることもあります。飼い主は車で通っているようなので、近くに住んでいないと思われニワトリの鳴く頻度を把握していないと思います。</p>
162	<p>アパートに住む外国人に、限らず短期間住む方が多い。生活ルールを解らせる為の多言語パンフレットが欲しいです。</p>
163	<p>太田町の市営住宅の西側の通路の雑草が酷く、通学で通る子供も多いので綺麗にしてもらいたい。子供が安全に通学できる道があることは居住地を決める上で検討すべき場所だとも思います。</p>
164	<p>子供が安全にまた、将来に希望が持てるような市にしてほしい。</p> <p>老人が安全に健康的に生活できる環境を整えてほしい。</p>
165	<p>家賃支援制度を備えて欲しい</p>

166

苦情になるのですが、本町 22-13 に建っている空き屋なのですが、近隣に鳥による糞害や、窓ガラスが割れて歩道にガラスが落下していたり、ごみを外に溜めこんでそのままにしています。また、占拠している住人らしき人物が上半身裸でうろうろしていてとても怖いです。行政でなんとかして下さい。